令和元年東日本台風
佐野市災害ボランティアセンター活動報告書

令和３年６月

社会福祉法人 佐野市社会福祉協議会

は　じ　め　に

令和元年１０月１２日に発生した令和元年東日本台風（台風第１９号）による豪雨災害により全国で死者１００名以上、負傷者が約４００名、住宅被害が１０万棟以上など甚大な被害をもたらしました。

佐野市においては、河川氾濫や土砂災害により全壊２０棟、半壊１，７０７棟、一部損壊２，０９５棟の合計３，８２２棟の建物被害をもたらしました。改めて、被災された方々に対し、心よりお見舞い申し上げます。

佐野市社会福祉協議会では、台風の接近から災害の発生に至る中で、佐野市や栃木県社会福祉協議会をはじめ関係機関・団体等と連携を図り、被災状況の把握に努めながら被災者支援活動のための体制を整え、佐野市の要請を受け、令和元年１０月１５日に開催した、第１回佐野市社会福祉協議会災害対策本部会議において佐野市災害ボランティアセンターの設置を決定しました。

被災された方々が、一日も早く元の生活に戻れるよう被災世帯の家屋や敷地など、生活空間の復旧・復興を中心とした被災者支援活動を行ってきました。新型コロナウイルスの感染拡大により、活動を一時休止した期間もありましたが、依頼を受けましたすべてのニーズが活動完了となったことに伴い、令和２年７月３１日をもって閉所といたしました。

この間、佐野市災害ボランティアセンターの運営に対しましては、全国から運営支援者の派遣、延べ１２，５２７名にのぼるボランティアの方々、支援金並びに物資の提供、そして多くの温かい励ましのお言葉など多大なご支援をいただいたことに対しまして、心から感謝申し上げます。

本会では、本会の防災計画、職員初動マニュアル、災害ボランティアセンターマニュアルの見直しを行い、今回の被災経験を大きな教訓とし、防災体制並びに被災者支援活動に万全を期するため、日々取り組んでいるところでございます。

このたび、将来起こり得る災害対策に取り組む際の一助となることを願い、災害ボランティアセンターの取り組みを振り返り、整理してこれからの活動に資するため、報告書を発行することとしました。

最後に、全国の社会福祉協議会及び関係団体の皆様、そして支援活動に全国からご参加いただきました多くのボランティアの皆様に、改めて深く感謝申し上げますとともに、本活動報告書作成にあたり、ご協力いただきました関係者の皆様に厚くお礼を申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。

令和３年６月

社会福祉法人 佐野市社会福祉協議会
会　長　出　井　　修

■目　次■

■第１章　令和元年東日本台風による被害状況

1　令和元年東日本台風の概要　2
（1）気象状況　2
（2）大雨等の状況　3
（3）警報・避難勧告等の発表（発令）状況　5

2　被害の概要　6
（1）人的被害の状況　6
（2）建物被害の状況　6
（3）浸水被害の状況　7
（4）生活基盤施設等の被災状況　10
（5）商工業及び農業の被災状況　10
（6）堆積土砂の発生状況　11
（7）災害ごみの発生状況　11

3　被災エリアの状況　12
（1）平野部での特徴　12
（2）山間部での特徴　15

■第２章　災害ボランティアセンターの活動

1　設置経緯　20
（1）災害ボランティアセンター設置からボランティア受付開始まで　20

2　運営体制　21
（1）組織体制　21
（2）災害ボランティアセンター各班のレイアウト　22

3　一日のスケジュール　24

4　運営マニュアル　25
（1）佐野市災害ボランティアセンター基本情報（実績）　25
（2）災害ボランティアセンター各班の活動　27
・総務広報班
・ニーズ班
・受付班
・マッチング班
・送り出し班

5　使用資機材　32
6　シャトルバスの運行　36

7　災害ボランティアセンター運営記録　37
（1）佐野市社会福祉協議会災害対策本部会議　37
（2）災害発生から佐野市災害ボランティアセンター閉所まで（抜粋）　40
（3）ボランティアの受入れ体制について　43
（4）時系列ごとのボランティア活動と災害ボランティアセンター運営体制　44
（5）ボランティア受付から活動終了までの流れ　46
（6）佐野市災害ボランティアセンター記録写真　47

8　災害ボランティアセンター活動実績　51

9　資金、決算状況　52

１０　ボランティア活動保険の受付実績　53

１１　行政との連携、関係機関、協力団体　54
（1）佐野市との連携　54
（2）関係機関、運営協力団体　54
（3）寄付者、協力団体　55

■第３章　振返り、検証

1　災害ボランティアセンター運営についての課題、改善点　60

2　ボランティア活動に参加して　63
・佐野市ボランティア協会
・さのボラねっと
・TA-SU-KE 隊
・一般社団法人　佐野市青年会議所
・佐野日本大学短期大学

■第４章　資料編

1　佐野市災害ボランティアセンター活動実績　68

2　新聞記事　76

3　マスコミ取材記録　81

4　様式集　82

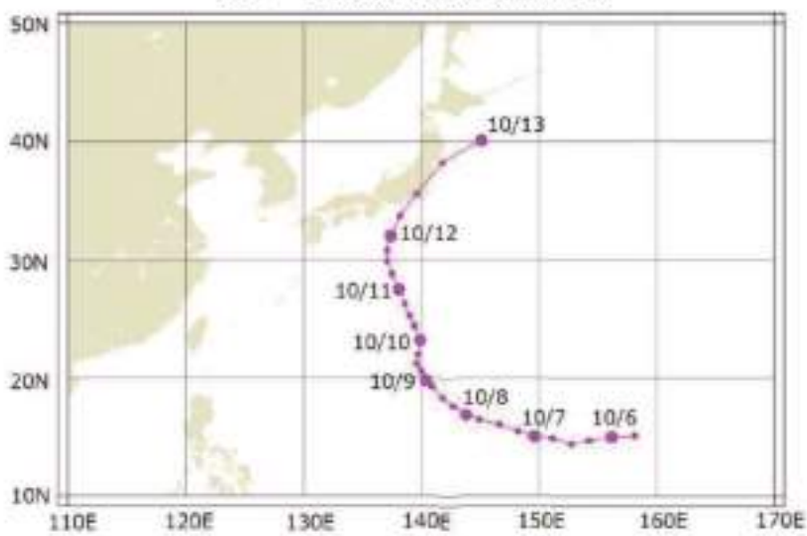
第１章　令和元年東日本台風による被害状況

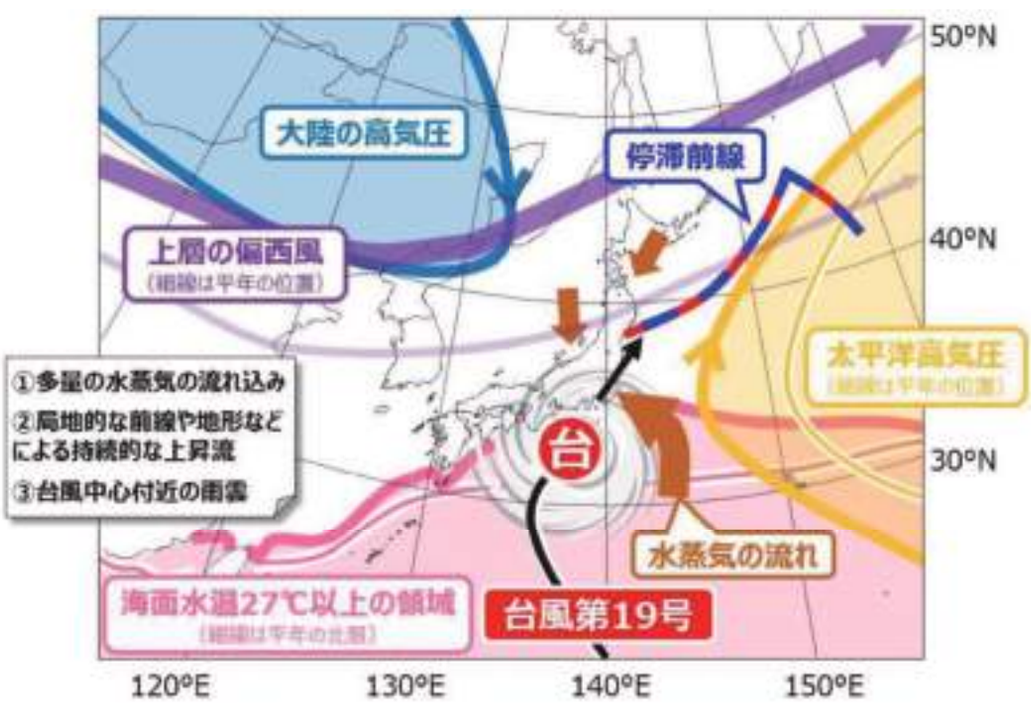
1　令和元年東日本台風の概要

（1）気象状況

令和元年東日本台風は10月6日に発生し、平年よりも高い海水温の領域を通過しながら急速に発達し、発生から僅か39時間で中心気圧915 hPaとなり、猛烈な勢力に発達。その後、勢力を維持したまま小笠原諸島に接近し、10日21時に非常に強い勢力となり、12日19時前に大型で強い勢力で静岡県伊豆半島に上陸しました。上陸直前の中心気圧は955hPa、最大風速は40m/sで、その後関東地方と福島県を縦断し、13日12時に三陸沖東部で温帯低気圧に変わりました。

図1　台風の進路及び大雨の要因



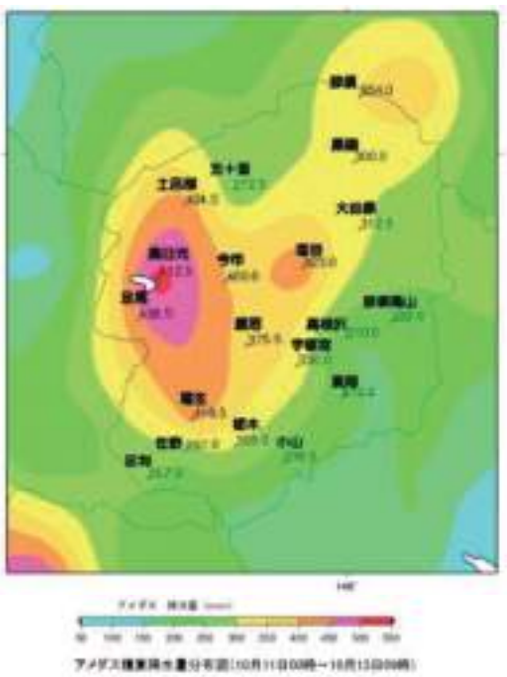


出典：宇都宮気象台報道発表資料より（10月24日）

（２）大雨等の状況

10 月 12 日から 13 日にかけての佐野観測所（佐野市田沼町）の１時間最大降雨量（21 時時点）は 29.5㎜、１日最大降雨量（1 時～ 24 時）は 261.5㎜、葛生観測所（佐野市豊代町）の １時間最大降雨量（19 時時点）は 47.5㎜、１日最大降雨量（1 時～ 24 時）は 410㎜となりました。これは、例年の 10 月平均降水量（135.4mm）の２倍から３倍の値となっており、記録的大雨となりました。

図２　栃木県内の降水量分布



出典：宇都宮気象台発表資料（10 月 16 日）

表１　佐野観測所（佐野市田沼町）及び葛生観測所（佐野市豊代町）の降水量

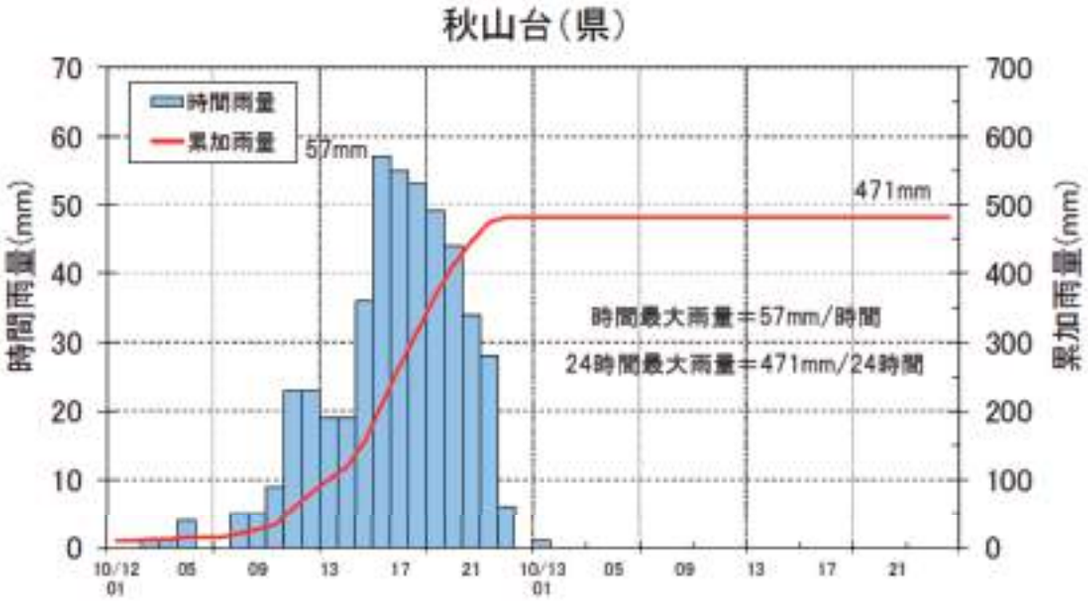
佐野　2019年10月12日（１時間ごとの値）

時	降水量 (mm)	気温 (℃)	風速・風向(m/s)		日照時間 (h)	雪(cm)	
			風速	風向		降雪	積雪
1	0.0	23.5	3.3	北東		///	///
2	0.0	23.3	3.7	北東		///	///
3	0.0	23.5	3.1	北東		///	///
4	1.0	23.4	3.1	東北東		///	///
5	0.5	23.0	4.2	北東		///	///
6	0.0	23.3	4.1	北東	0.0	///	///
7	0.0	23.7	5.2	北東	0.0	///	///
8	5.5	22.6	5.7	北東	0.0	///	///
9	2.5	22.6	5.7	北東	0.0	///	///
10	7.0	22.5	7.6	北北東	0.0	///	///
11	13.5	22.2	5.5	北東	0.0	///	///
12	10.5	22.5	6.8	北東	0.0	///	///
13	6.0	22.8	5.6	北東	0.0	///	///
14	11.5	23.4	5.9	北東	0.0	///	///
15	19.5	24.6	8.1	東北東	0.0	///	///
16	26.5	24.7	8.2	北東	0.0	///	///
17	23.0	24.0	5.0	北東	0.0	///	///
18	22.5	22.9	4.8	北東	0.0	///	///
19	22.0	21.9	5.4	北東		///	///
20	28.0	21.9	6.1	北東		///	///
21	29.5	21.7	4.5	北北東		///	///
22	25.5	21.5	7.1	北		///	///
23	6.5	22.5	3.9	西北西		///	///
24	0.5	22.1	4.8	南南西		///	///

葛生　2019年10月12日（１時間ごとの値）

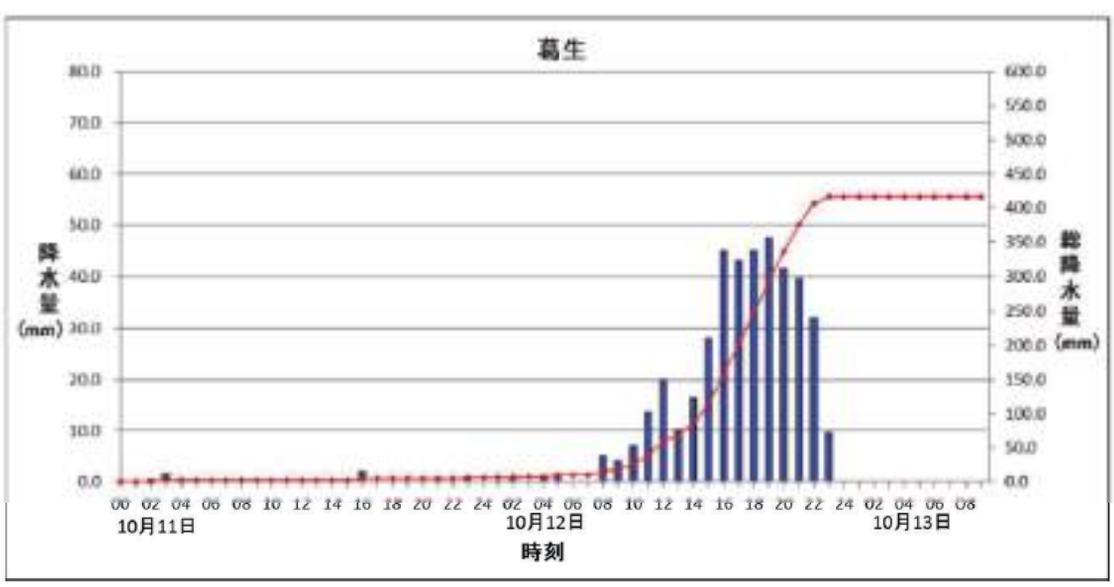
時	降水量 (mm)	気温 (℃)	風速・風向(m/s)		日照時間 (h)	雪(cm)	
			風速	風向		降雪	積雪
1	0.0	///	///	///	///	///	///
2	0.5	///	///	///	///	///	///
3	0.0	///	///	///	///	///	///
4	1.0	///	///	///	///	///	///
5	1.5	///	///	///	///	///	///
6	0.0	///	///	///	///	///	///
7	0.0	///	///	///	///	///	///
8	5.0	///	///	///	///	///	///
9	4.0	///	///	///	///	///	///
10	7.0	///	///	///	///	///	///
11	13.5	///	///	///	///	///	///
12	20.0	///	///	///	///	///	///
13	10.0	///	///	///	///	///	///
14	16.5	///	///	///	///	///	///
15	28.0	///	///	///	///	///	///
16	45.0	///	///	///	///	///	///
17	43.0	///	///	///	///	///	///
18	45.0	///	///	///	///	///	///
19	47.5	///	///	///	///	///	///
20	41.5	///	///	///	///	///	///
21	39.5	///	///	///	///	///	///
22	32.0	///	///	///	///	///	///
23	9.5	///	///	///	///	///	///
24	0.0	///	///	///	///	///	///

図３　秋山台観測所における降水量の推移



出典：「秋山川改修事業資料（令和２年６月）」より

図４　葛生観測所における降水量の推移



出典：宇都宮気象台発表資料（10 月 16 日）

（３）警報・避難勧告等の発表（発令）状況

注意報、警報等の発表の状況、本市の災害対策本部の設置及び避難勧告等の発令状況は次のとおりです。

表２　宇都宮気象台が発表した情報

日時/項目	雷 注意報	強風 注意報	洪水 注意報	大雨 注意報	暴風 警報	洪水 警報	大雨 警報	大雨 特別警報	土砂災害 警戒情報
10月11日22時07分	○	○		○					
10月12日06時19分			○				浸		
10月12日11時26分							土・浸		
10月12日13時44分					○	○			
10月12日15時41分									
10月12日16時40分									○
10月12日19時26分									
10月12日19時50分								土・浸	
10月13日2時20分	解除	○					土		
10月13日4時58分									
10月13日6時18分							解除		6時15分解除
10月13日10時30分		解除							
10月16日18時03分						解除			
10月25日11時36分						○	土		
10月25日20時20分						解除	解除		

（補足）
浸：浸水害　／　土：土砂災害　／　土・浸：土砂災害・浸水害
大雨特別警報　　：台風や集中豪雨によって数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合に発表される。
土砂災害警戒情報：重大な土砂災害が起こる恐れがあるとき、気象庁と都道府県が共同で発表する防災情報。

表３　佐野市災害対策本部設置・避難勧告等発令状況

日時	内容	
	項目	対象地域
10月11日15時30分	佐野市災害警戒本部設置	
10月12日11時00分	避難準備・高齢者等避難開始	佐野市全域
10月12日16時50分	避難勧告発令	佐野市全域
10月12日17時40分	佐野市災害対策本部設置	
10月12日19時30分	避難指示（緊急）発令	佐野地区・植野地区・堀米地区
10月12日19時45分	避難指示（緊急）発令	葛生地区
10月12日21時15分	避難指示（緊急）発令	吾妻地区
10月15日11時00分	避難指示（緊急）発令	水木町（１世帯２名）
10月16日19時30分	避難情報解除	水木町（１世帯２名）を除く地域
10月21日14時30分	避難勧告発令	豊代町（３世帯７名）
10月23日18時00分	避難情報解除	水木町（１世帯２名）
10月25日18時30分	避難勧告発令	豊代町（11世帯35名）
11月17日12時00分	避難情報解除	豊代町（１世帯７名を除く地域）
12月24日　8時30分	避難情報解除	豊代町（１世帯７名）

2　被害の概要

10 月 12 日に上陸した台風は、非常に強い雨や風をもたらし、市内各所に浸水被害や土砂崩れ、また秋山川の決壊などを引き起こすなど未曽有の被害となり、市民の財産、道路、河川、橋梁といった公共インフラ、商工業、農業など多くの産業基盤に甚大な被害が発生しました。

（1）人的被害の状況

本市において死者はなく、避難途中に足を負傷した人など中等症１名と軽傷２名の３名の人的被害が発生しました。

（2）建物被害の状況

建物被害としては、住家の全壊 8 棟、半壊 1,045 棟、一部損壊 1,332 棟、非住家の公共建物 8 棟、その他 1,437 棟の合計 3,830 棟の被害が確認されています。

り災証明書に関しては、受付が 2,085 件、交付済が 2,085 件。内訳は、全壊 6 件、大規模半壊 76 件、半壊 971 件、一部損壊（準半壊）96 件、一部損壊（10％未満）919 件、被害なし 17 件となっています。

表４　建物被害の棟数（令和２年１０月１日現在）

被害区分		棟数		合計
		住家	非住家	
全壊		8	12	20
大規模半壊		89	39	128
半壊		956	623	1,579
一部損壊（準半壊）	床上	32	8	40
	床下	12	5	17
一部損壊（10％未満）		1,288	750	2,038
合計		2,385	1,437	3,822

表５　り災証明書発行件数（令和２年１０月１日現在）

り災判定	交付件数	合計
全壊	6	2,085
大規模半壊	76	
半壊	971	
一部損壊（準半壊）	96	
一部損壊（10％未満）	919	
被害なし	17	

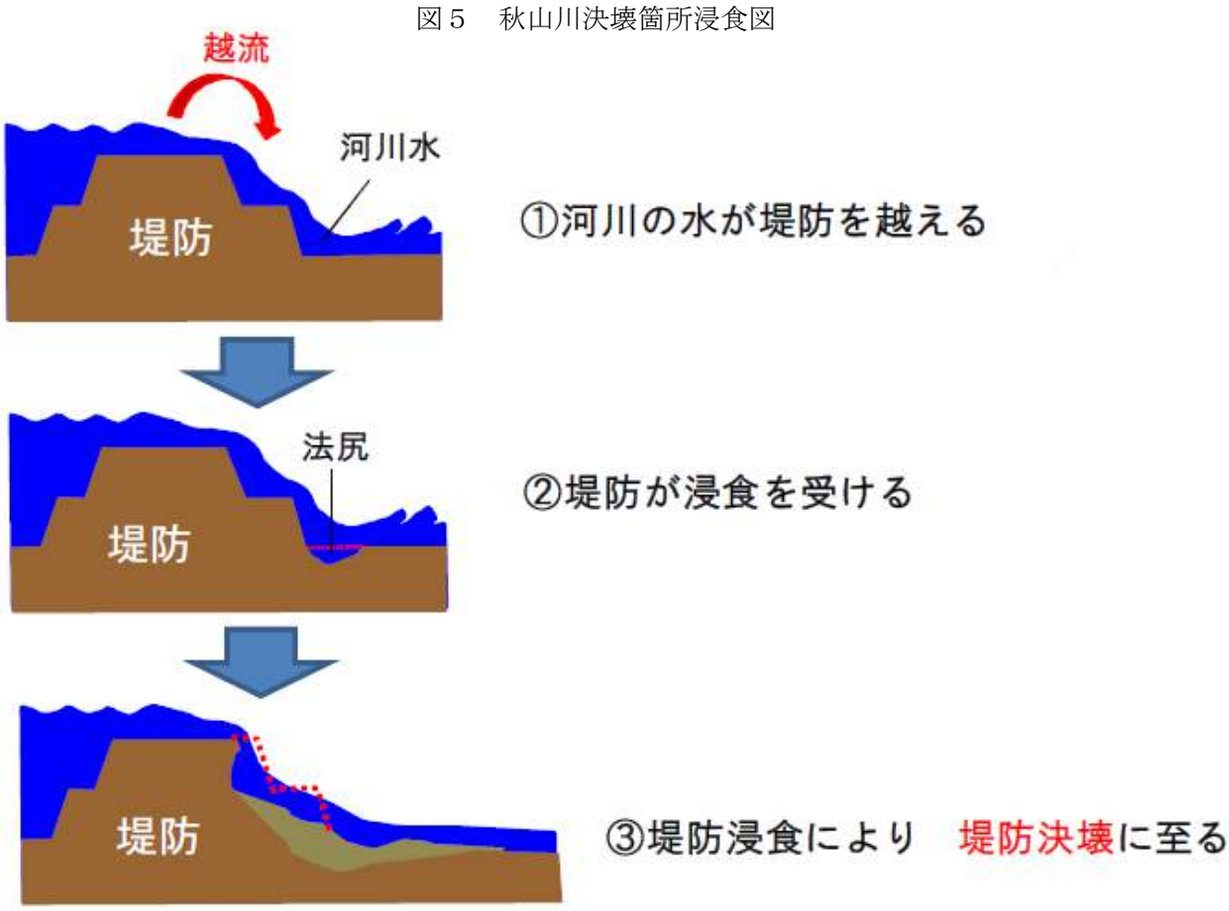
（３）浸水被害の状況

浸水被害としては、令和２年 10 月１日時点で、被害棟数床上浸水 1,767 件、床下浸水 2,055 件の被害が確認されています。

浸水被害を大きくもたらした決壊した秋山川流域において、要因としては、秋山川で流せる水の量（流下能力）を超える雨が降ったことで、河川の水が堤防を越え、堤防が浸食を受けて決壊したことなどにより発生したといわれています。

また、海陸橋上では、漏水も一因として調査しています。

図５　秋山川決壊箇所浸食図



出典：栃木県「秋山川改修事業資料（令和２年６月）」より

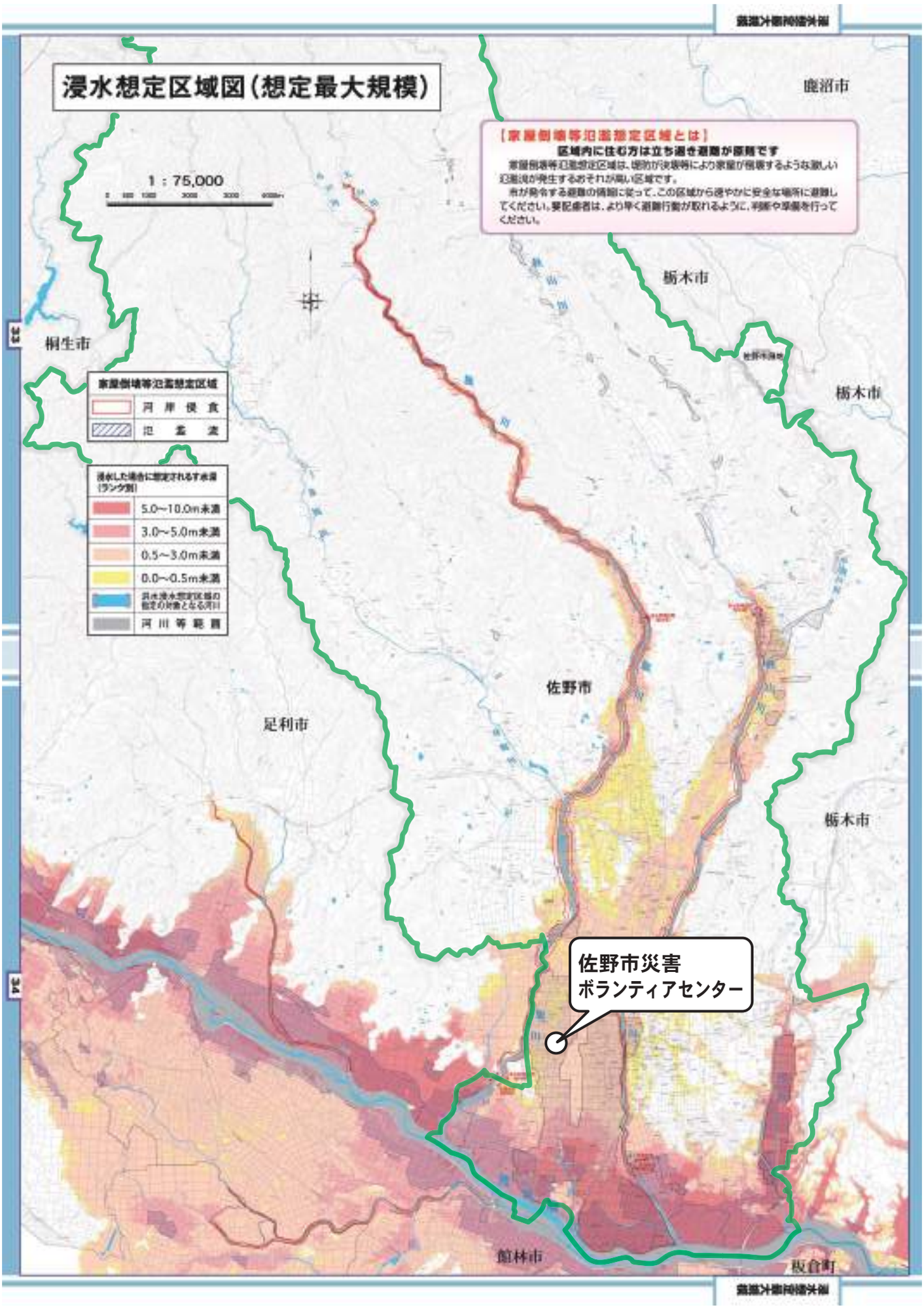

浸水想定区域図（想定最大規模）
1：75,000
【家屋倒壊等氾濫想定区域とは】
区域内に住む方は立ち退き避難が原則です
家屋倒壊等氾濫想定区域は、堤防が決壊等により家屋が倒壊するような激しい氾濫流が発生するおそれが高い区域です。
市が発令する避難の情報に従って、この区域から速やかに安全な場所に避難してください。要配慮者は、より早く避難行動が取れるように、判断や準備を行ってください。
家屋倒壊等氾濫想定区域
河岸侵食
氾濫流
浸水した場合に想定されるす水深（ランク別）
5.0～10.0m未満
3.0～5.0m未満
0.5～3.0m未満
0.0～0.5m未満
河川等範囲
鹿沼市
栃木市
桐生市
栃木市
佐野市
足利市
栃木市
館林市
板倉町
佐野市災害
ボランティアセンター

図６　主な浸水実績図（小曽戸川周辺）

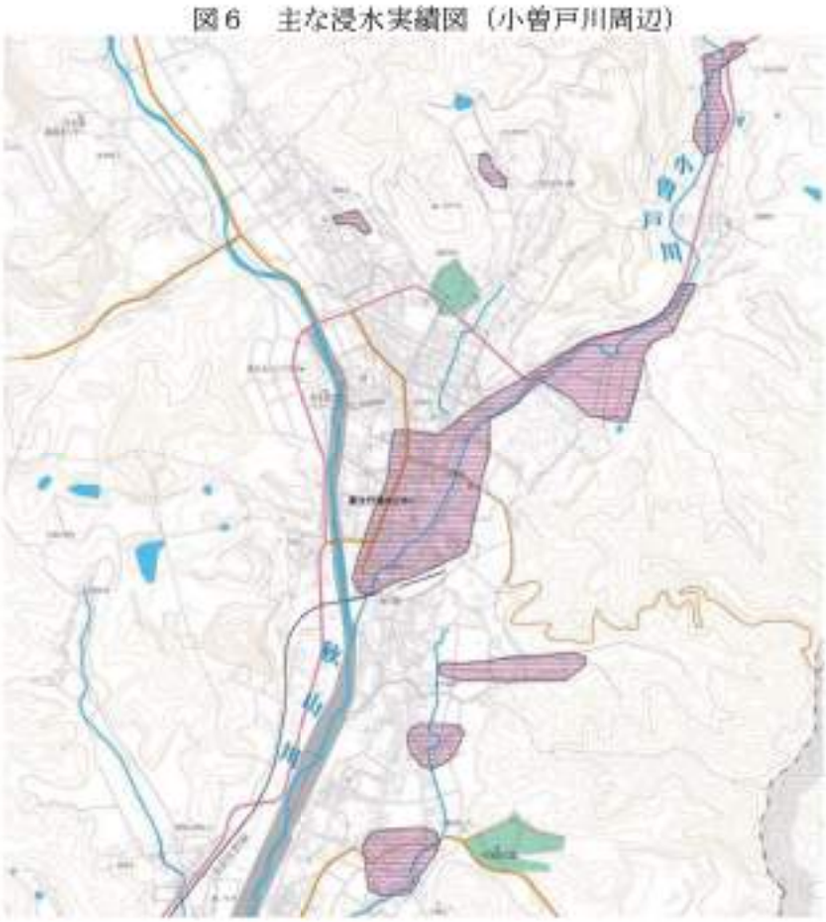


図７　主な浸水実績図（秋山川・旗川周辺）

出典：「佐野市洪水・土砂災害ハザードマップ」より

（4）生活基盤施設等の被災状況

土砂等による道路の埋塞（まいそく）や橋梁（きょうりょう）への流木の集積による河川氾濫、洗掘（せんくつ）による道路崩落などが多数発生し、交通ネットワーク等が分断されました。

とりわけ、川の洗掘により道路崩落した氷室地区においては生活道路としての使用が困難となり、多くの市民が孤立する状態が発生しました。

県道秋山葛生線 (氷室小学校前)

中橋 (佐野市天明町)

（5）商工業及び農業の被災状況

秋山川の決壊や氾濫した影響により浸水した地域を中心に商工業や農業は大きな被害を受け、特に農地では木くずや稲わら、土砂などが覆うなどして、大きな被害をもたらしました。商工業に関する被害推計額は約 101 億円、農業に関する被害推計額は農地約 57 億円、農産物被害約 14 億円に及ぶと推定されています。

下羽田町工業団地周辺

農地（佐野市大古屋町）

（６）堆積土砂の発生状況

河川の決壊・氾濫や斜面の崩落等により大量の土砂が市街地へと流出しました。流出した土砂は被災地域の宅地内や道路上へ堆積し、その内、宅地内への堆積土砂は、土砂の仮置場に指定した田沼グリーンスポーツセンター多目的競技場に搬入されました。堆積した土砂は、推計約２万㎥に及び大きな被害をもたらしました。

赤坂町内住宅地

土砂仮置場
（田沼グリーンスポーツセンター多目的競技場）

（７）災害ごみの発生状況

被災家屋等からは大量の災害ごみが発生し、市が設置した仮置場へ運び込まれました。本市の災害ごみの発生量は推計約１万５千ｔに及び、災害ごみは、仮置き場に指定した「赤見運動公園プール駐車場」や「中運動公園野球場（Ｂ・Ｃ球場)」、「栄公園野球場」、「田沼総合運動場」に運び込まれました。

なお、発生した災害ごみは、県内では最も被害の大きかった栃木市についで２番目に多い発生量でした。

上川原東公園（大橋町）

災害ごみ仮置場（栄公園野球場）

3　被災エリアの状況

（1）平野部での特徴

・粒子の細かい泥が多い。車がスリップしやすい。スコップにつきやすい。
・水量が多い。水流の強い場所では塀などが崩れる箇所もある。
・被災範囲が広い。
・泥は、早期にはぬかるみの液状の泥、乾いた後は固まり、チョコレート状となりひびが入る。

赤坂町内住宅地

下羽田町工業団地周辺

秋山川の決壊（赤坂町）

中橋の崩落（秋山川　天明町・大橋町）

秋山川越水後のガードレール（大橋町）

住宅地のフェンス（大橋町）

水圧で崩れた住宅の塀（大橋町）

全体的に土ぼこりでおおわれている被災地域

浸水被害で泥に覆われた部分。乾いたことで地表にひび割れが出始めている。（上左）屋外の泥出しは被災時に覆われた表面の泥のみをとる。（上右）
災害前の元の地面と土の質が違う。

災害ゴミ（道路に面した敷地内に置く）
※市内を巡回する災害ごみ収集車が回収した。

（２）山間部での特徴

・石、砂交じりの土砂。
・特に山ぎわでは、土砂の流入による被害が大きい。
・水の勢いがある。川ぎわの道路は被害が大きい。
・流木多数。

山間部の住宅。裏山からの土砂で１階屋根付近まで埋まっている。
平野部に比べて砂、石が多い。（仙波町）

山間部の住宅の車庫にて。
土砂に埋まった車
（作原町）

土砂崩れにより寸断された道路 (豊代町)

県道秋山葛生線 (氷室小学校前)

山間部の河川。橋脚に流木が多数かかっている。
（豊代町）

流木がふさいだ橋の川岸

住宅の土手が崩落（柿平町）

（上）土砂が流れ込んだ川
（下）土砂が取り除かれた復旧後の様子（水木町）

川岸のコンクリートの内側の土が削られた。
（作原町）

佐野市『令和元年東日本台風記録誌（中間報告）』より一部引用

第２章　災害ボランティアセンターの活動

1　設置経緯

（1）災害ボランティアセンター設置からボランティア受付開始まで

日付	活動内容	備　考
10/12 （土）	・佐野市社会福祉協議会防災計画に基づき、「警戒配備」【警戒体制】をとる。 （後に、「第１配備」【非常体制】へ移行） ・台風第 19 号により被災	・配備要員は、防災計画に定めた施設へ配備する。 ・佐野市災害対策本部設置 （市社協事務局長出席）
10/13 （日）	・市社協職員安否確認、施設の被害状況確認 ・佐野市より佐野市災害ボランティアセンター設置要請を受ける。 ・災害ボランティアセンター設置準備開始 ・災害ボランティア活動支援プロジェクト会議メンバー（支援Ｐ）による現地調査 ・ボランティア相談受付開始	・資機材の在庫確認 ・不足する資機材の手配 ・支援Ｐより被害状況やマスコミ報道により、ボランティア受け入れ態勢の規模についてアドバイスを受ける。
10/14 （月祝）	・ボランティア相談受付	・ボランティア依頼、活動相談の受付
10/15 （火）	・第１回佐野市社会福祉協議会災害対策本部会議開催 ・佐野市災害ボランティアセンター設置 （被災者からの支援ニーズ受付、現地調査スタート）	・ニーズ受付　55 件
10/16 （水）	・災害ボランティア受付開始 （災害ボランティアによる支援活動スタート）	・ボランティア受付　145 名 ・活動件数　20 件

※スコップ（剣、角）、一輪車など基本的な資機材の不足分は、市に手配を依頼した。その他、必要な資機材は県外のボランティア団体（にいがた災害ボランティアネットワーク等）や過去災害ボランティアセンターを設置した社会福祉協議会（朝倉市社協）や佐野市と姉妹都市の行政機関（彦根市）等より借用や提供を受けた。

※ボランティア保険は、各ボランティアの個人負担とした。（学生の団体ボランティアは社協負担とした。）

※ボランティアが行う活動は、被災した住宅の泥出し等の復旧活動とし、安全が確保できる作業に限定した。（会社や事業所からの依頼は受けなかった。）

※設置当初より、市内だけでなく、市外、県外からのボランティア参加者の受入れを行った。

※ひとり暮らし高齢者世帯、高齢者夫婦のみの世帯など、自力で復興活動が困難と思われる世帯の方を優先とした。

※ボランティア参加年齢を中学生以上とした。ただし、中学生は保護者同伴による活動とした。

2　運営体制

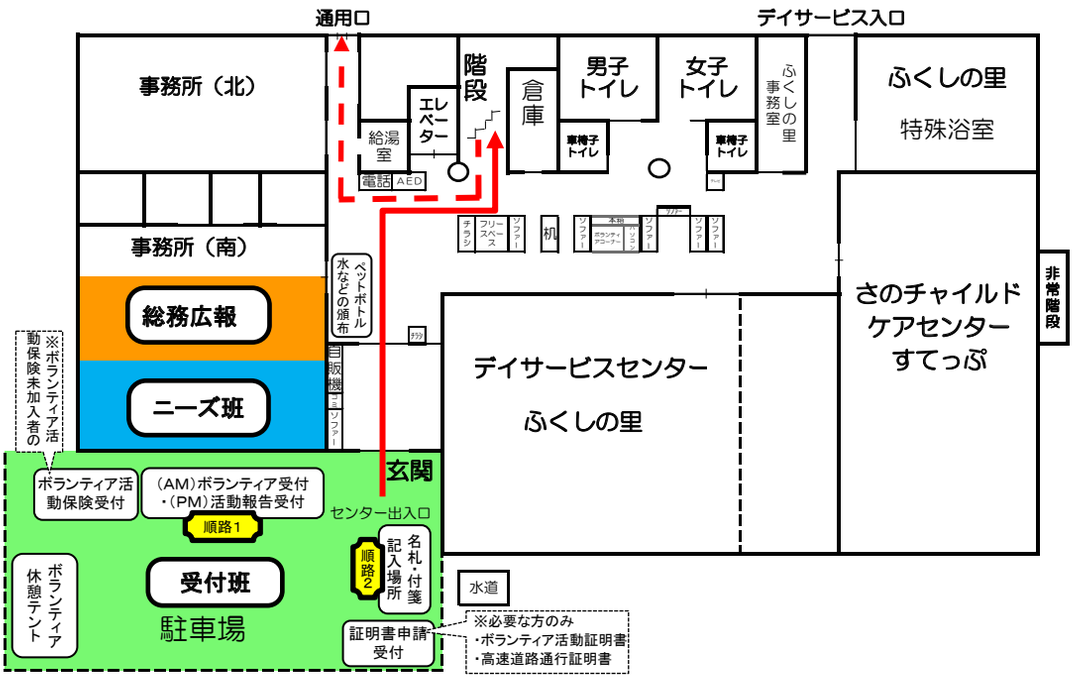
（1）組織体制

佐野市社会福祉協議会災害対策本部		
本部長	佐野市社協会長	全体統括・指揮
副本部長	佐野市社協副会長	本部長の補佐、マスコミ対応
	常務理事兼 事務局長	本部長の補佐、マスコミ対応、佐野市災害対策本部との連絡調整　※災害ボランティアセンター長を兼務

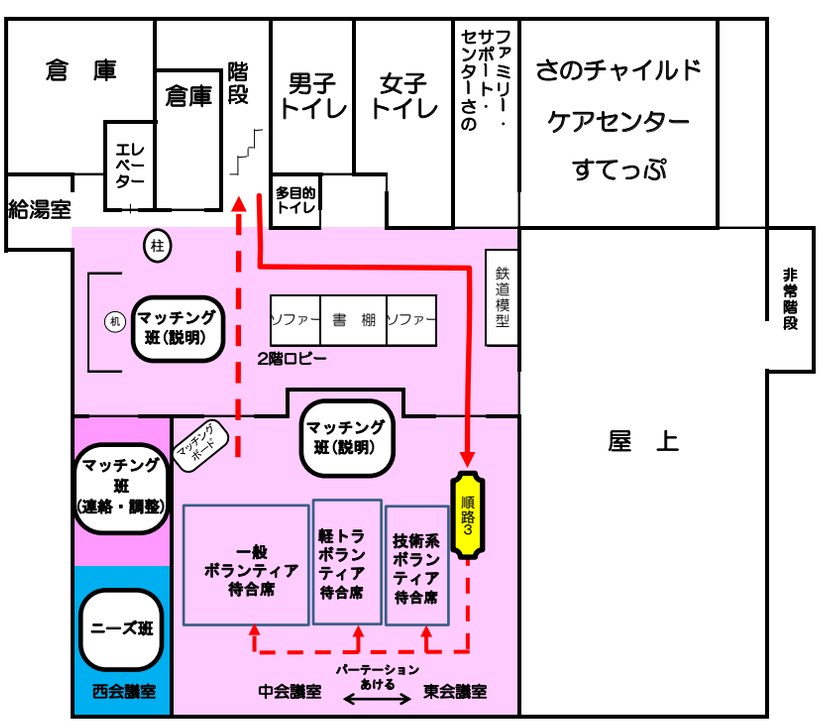
佐野市災害ボランティアセンター		
統括責任者 （センター長）	常務理事 兼事務局長	・災害ボランティアセンターの統括責任者 ・佐野市災害対策本部との全体的な連絡調整
統括補佐・災害ボランティア支援班長	総務福祉課長	・災害ボランティアセンター統括の補佐 ・各班の統括、災害ボランティアセンター組織全体の調整、外部機関との連絡及びボランティア活動決定など
災害ボランティア支援副班長	総務福祉課地域福祉推進係長	・各班の統括、災害ボランティアセンター組織全体の調整の補佐 ・ボランティア、各団体や外部機関との連絡調整
総務広報班	＜情　報＞ ・広報 ・情報収集 ・外部対応 ・情報管理・共有	＜総務・会計＞ ・ミーティングの開催 ・スタッフ・組織の管理 ・活動集計・報告 ・会計管理 ・関係機関との連絡調整 ・その他の庶務的業務
ニーズ班	＜ニーズ受付＞ ・電話（FAX）、来所等による被災者ニーズの把握 ・ボランティア調整シートの作成 ・受付班から引き継がれた活動報告書の確認 ＜現場調査＞ ・ボランティア調整シートをもとに被災現場を確認 ・活動指示書の作成	
受付班	＜活動受付＞ ・ボランティア活動希望者の受付 ・ボランティア活動の流れ説明 ・ボランティア活動保険加入手続き ・ボランティア活動証明書の作成 ・ボランティアの個人・団体情報の管理 ＜活動報告受付＞ ・ボランティア活動の確認 ・活動報告書の受付 ・活動報告書特記事項等のニーズ班への引き継ぎ	
マッチング班	＜マッチング＞ ・被災者ニーズとボランティア活動希望のマッチング ・ボランティアに行く前の心構え等必要事項の説明（オリエンテーション） ・ボランティア活動先への連絡 ・活動先へのルート案内	
送り出し班	＜資材の管理＞ ・ボランティア活動に必要な資機材や物品等の準備・調達・管理保守 ・ボランティアへの備品や物品等の貸出、返却及び在庫管理	

（2）災害ボランティアセンター各班のレイアウト

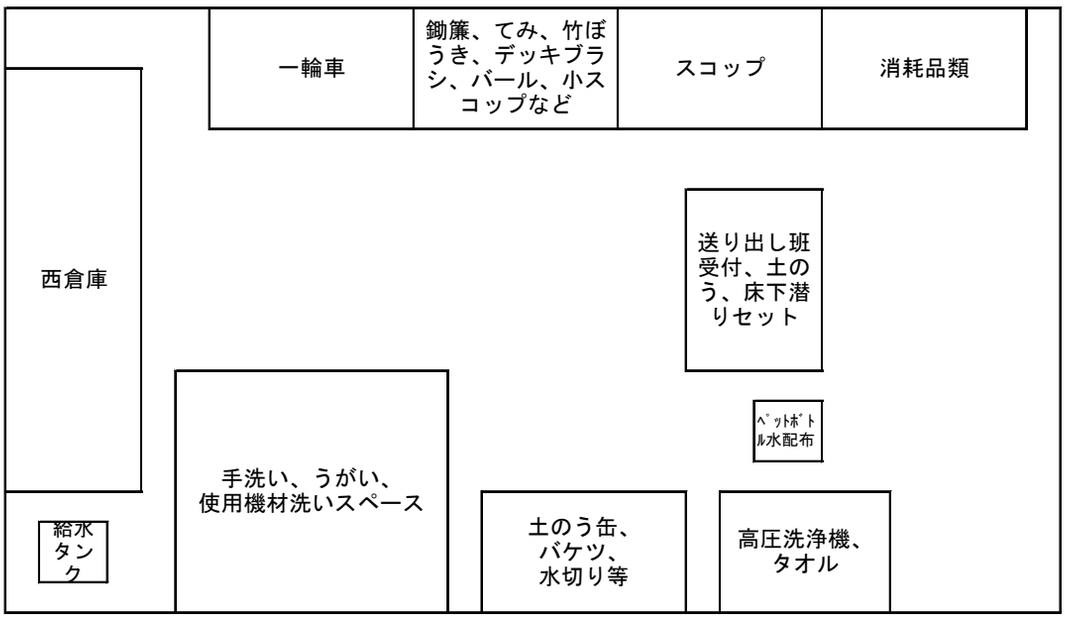
①佐野市総合福祉センター　１階（総務広報班、受付班、ニーズ班）



②佐野市総合福祉センター　２階（ニーズ班、マッチング班）

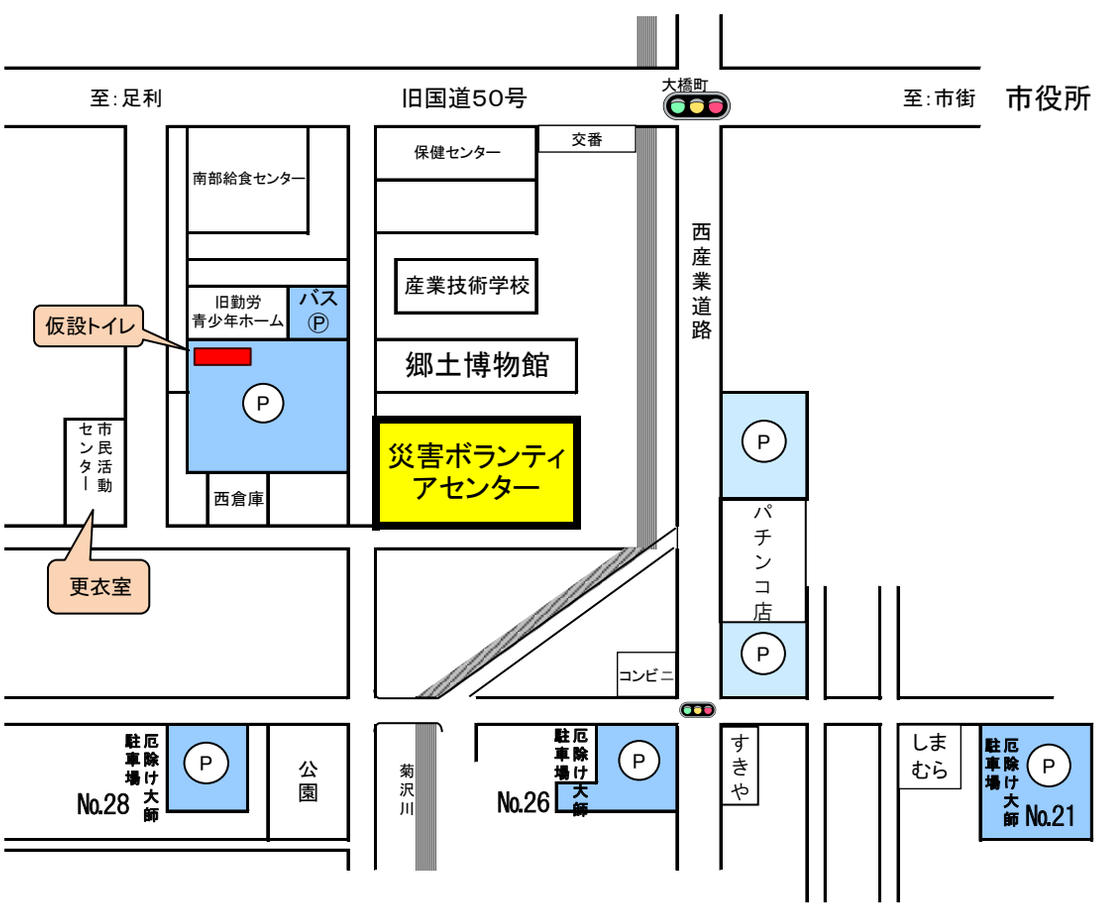


③西倉庫前（送り出し班）



※ 投光器、送風機等は後日、受付テントに配置になりました。

④災害ボランティアセンター来場者駐車場（フルオープン時）



※１０月１６日～１１月８日までは、西産業道路東側のパチンコ店駐車場を借用した。

3　一日のスケジュール

<table>
<tr><th>時間</th><th>総務広報班</th><th>ニーズ班</th><th>受付班</th><th>マッチング班</th><th>送り出し班</th></tr>
<tr><td>8:00</td><td colspan="5">・スタッフ集合
・スタッフ全体ミーティング
・駐車場開錠・屋内、屋外の会場セッティング
・各班ミーティング（前日からの改善点や全体ミーティング・災害対策本部会議の情報共有）</td></tr>
<tr><td>8:45</td><td rowspan="8">・各種問い合わせ対応
・情報の収集、ホームページ等を活用した情報発信
・マスコミ対応
・外部との連絡調整
・社協内部の調整
・ボランティア受付実績集計
・ボランティア活動証明書発行など</td><td rowspan="8">・ニーズ受付
電話、来所など
・依頼先の現地調査、記録
・活動指示書の作成
・依頼先等のマッピング
・ボランティア団体より活動ニーズの受付調整
↓
・ボランティア活動完了ニーズ、残ニーズ件数の確認</td><td rowspan="2">・ボランティア受付 (8:45 ～正午)
・１日の流れ説明
・ボランティア活動証明書の受付
・ボランティア活動保険の受付</td><td rowspan="2">・ボランティア活動場所ごとにグループ分け
・ボランティア活動の具体的な説明
・ボランティア活動における注意点や心構えの説明
・ボランティア活動時間
< 午前 >
10:00 ～ 12:00
< 午後 >
13:00 ～ 15:00</td><td rowspan="2">・資機材の貸出
・不足備品等の調達
・翌日の貸出準備など</td></tr>
<tr><td>10:00</td></tr>
<tr><td>11:00</td><td rowspan="6">・活動報告書の受付、聞き取りなど
・高速道路無料措置の車両証明書に受付印の押印
・ボランティア活動証明書の配布
・翌日のボランティア受付準備</td><td rowspan="6">・翌日のマッチング活動の準備など
・翌日のボランティア依頼先の調整など</td><td rowspan="6">・資機材の返却受付
・返却された道具の洗浄
・土のう袋等消耗品の在庫確認</td></tr>
<tr><td>12:00</td></tr>
<tr><td>13:00</td></tr>
<tr><td>14:00</td></tr>
<tr><td>15:00</td></tr>
<tr><td>16:00</td></tr>
<tr><td>17:00</td><td colspan="5">・実績集計、班単位のスタッフミーティング
・班ごとに１日で起きた問題点の確認、検討、情報共有</td></tr>
<tr><td>18:00</td><td colspan="5">・全体ミーティング（本部長、副本部長、各班長出席）
・１日で起きた課題・問題点の調整、検討、各班の変更点や注意点等の情報共有</td></tr>
</table>

4　運営マニュアル

（1）佐野市災害ボランティアセンター基本情報（実績）

No.	項　　目	内　　容
1	名　　称	佐野市災害ボランティアセンター
2	設置場所	佐野市総合福祉センター内 【住　　所】佐野市大橋町 3212-27　佐野市総合福祉センター内
3	交通案内	電車の場合…ＪＲ両毛線佐野駅・東武佐野線佐野市駅 ※佐野駅～災害ボランティアセンター間のシャトルバスを運行した （期間：令和元年 11 月２日～ 12 月１日の土日のみ運行） 車の場合　…近隣に災害ボランティアセンター駐車場あり ボランティアバスの場合…要事前連絡
4	運営時間	午前８時 30 分～午後５時 15 分 （ボランティア活動者受付：午前８時 45 分～正午）
5	ボランティアの活動時間	午前 10 時～午後３時 （午後４時には災害ボランティアセンターに帰着する。）
6	電話番号 FAX 番号	【電　　話】 （代表：総務・広報）　０２８３－２２－８１００ （ボランティア活動希望者用）０２８３－２２－８１３６ （ボランティア支援依頼用）　０２８３－２２－８１３６ 上記のほか携帯電話を設置 【ＦＡＸ】　０２８３－２２－８１９９ 【Ｅメール】　sano-vc@sanoshakyo.or.jp
7	ホームページ ・ＳＮＳ	佐野市社会福祉協議会ホームページ https://www.sanoshakyo.or.jp/ 佐野市災害ボランティアセンター Facebook https://www.facebook.com/sanovola/
8	ボランティアによる支援対象	被災された方 ・「ひとり暮らし高齢者世帯」や「高齢者夫婦のみの世帯」など、自力での復旧・復興活動が困難と思われる世帯への支援を優先する。
9	支援可能なボランティア活動	・居住している家屋内外の片づけ ・ボランティアの安全が確保できる軽作業 ・特殊な技術を伴わない軽作業 ・避難者の支援に関する活動 ・その他、支援可能な活動
10	支援できない活動	・企業等の営利活動や運営に関わるもの ・政治的または宗教的活動 ・危険が伴う作業（屋根にのぼる行為等） ・特殊な技術などが必要なもの ※危険が予想されるものについては、職員が確認する。

No.	項　　目	内　　容
11	ボランティアの募集要件	・居住地による制限はなし。 （令和２年１月13日～２月22日、６月６日～７月31日は市内在住のボランティアに限定） ・原則１５歳以上。（だだし、中学生については成人の保護者又は監督者同伴の場合のみ受け入れる。） ・ボランティア活動保険に事前、または当日の受付前に加入する。 ・食事や宿泊場所の確保、自宅からの移動、体調管理などを自己責任で行える方
12	ボランティアの受付方法	【フルオープン、週末型の受付】 ・当日ボランティアセンターで申し込むこと。 （受付時間８：４５～正午） ・団体での参加は、事前に電話等での受付を行う。 【随時型の受付】 ・事前に災害ボランティアの登録を行った方にボランティア募集を行う。
13	ボランティアの服装・持ち物	【服　　装】 長袖、長ズボン、軍手、靴など、身体を守り、動きやすく、 汚れてもいい服装 【持 ち 物】 軍手、厚手のゴム手袋、マスク、ゴーグル、長靴、室内履き、タオル、雨具、食事、飲み物（多めに）、梅干し等の塩分がとれるもの、その他必要なもの
14	ボランティア活動保険	・保険料は個人負担 ※ボランティアが居住する市町村社協での事前加入を推奨 ※事前に団体ボランティア申請のあった高校生による学生団体の保険料は災害ボランティアセンターで負担
15	現地への移動	・活動場所までの移動は、原則として自家用車または乗合等で自主的に移動してもらう。
16	救援物資の対応	・衣類、生活用品などの支援物資の受付はしない。 ※佐野市（産業文化部）で受付
17	資機材等の寄付	・災害ボランティアセンターで使用する資機材等の寄付については受付する。
18	義援金等の対応	・栃木県共同募金会佐野市支会が募集する義援金及び、佐野市災害ボランティアセンターへの寄付は受付する。 （佐野市が窓口となり募集する義援金の受付は行わない。）
19	その他	・佐野市災害ボランティアセンターのボランティアは代表者が、ビブス（「佐野市社会福祉協議会」と書かれたもの）を着用する。 ・活動中の飲料水、昼食はボランティア各自で持参する。 ・宿泊先は、ボランティア各自で手配する。

（2）災害ボランティアセンター各班の活動

災害ボランティアセンターの運営業務は、各班に佐野市社会福祉協議会職員、県内、関東ブロック応援社協職員、協力団体等よりスタッフを班ごとに分け、班を単位に業務を行う。

班長、副班長は職員を固定し、各班員は運営状況に応じてスタッフを配置する。

総務広報班

1　主な役割

総務広報班は、災害ボランティアセンターの庶務・広報業務を行う。

主なものとして、市及び他機関からの情報収集及び連絡調整、寄付金の受付、会計、外部からの問い合わせの対応、実績集計、ホームページの管理、他の班に属さない用務を行う。

また、被災者からのボランティア依頼の募集やボランティア活動者の募集、ボランティア活動者のための各種支援情報の発信など、情報の収集･発信を行う。

2　業　務

＜総務・会計＞

1　ミーティングの開催
2　スタッフ・組織の管理
3　活動集計・報告
4　会計管理
5　関係機関との連絡調整
6　ボランティア活動証明書の作成・災害ボランティア車両の高速道路無料措置にかかる「ボランティア車両証明書」の発行
7　ボランティア管理票のデータ入力作業
8　その他の庶務的業務

＜広報、情報収集・管理＞

1	広　報	広報紙、チラシ、社協ホームページ、佐野市災害ボランティアセンター Facebook 等による情報提供、マスコミ取材対応
2	外部対応	市民、関係機関等からの問い合わせ対応
3	情報収集	各班からの内部情報や、関係機関など外部情報の収集
4	情報管理・共有	各班への外部情報の提供

ニーズ班

1　主な役割

ニーズ班は、ニーズ受付担当及び現場調査担当とする。被災者が必要とするボランティア活動の内容を確認し、効果的な活動調整を行う。

ニーズの受付は、被災者と災害ボランティアセンターの最初の接点となることから、被災者の心情を十分に配慮し、必要とするボランティア活動の内容を正確に把握し、効率的・効果的なボランティア調整（マッチング）に繋がるよう留意する。相談の中から、被災者の状況や隠れたニーズを把握するよう努める。

2　業　務

＜ニーズ受付＞

１　主に電話（ＦＡＸ）、来所により、ニーズの聞き取りを行い、「ボランティア調整シート」に活動内容等を記入

（１）支援ニーズの受付
「ボランティア調整シート」と「地図」を作成し現地調査担当へ引継ぎ

（２）パソコンへの入力作業

２　ボランティア団体のニーズ受付

（１）１０名以上での申し込みがあった場合の受付。活動日の調整、マッチング班への報告

＜現地調査＞

１　現地調査にて被災状況や活動内容を調査し、必要な資材等を確認

（１）現場調査・確認

（２）活動用書類等の作成、現場写真の印刷、現地の地図印刷

（３）調査場所を白地図へ記録

２　「ボランティア調整シート」と地図をマッチング班へ引継ぎ

＜活動報告書の確認＞

１　活動後のコメントを確認し、不備がある場合は依頼者に活動状況を確認

（１）活動報告書の確認

（２）作業完了と作業継続のファイル仕分け、作業継続はマッチング班へ引継ぎ

２　活動実績の集計・報告

（１）ニーズ受付件数（新規依頼、継続依頼）及び活動件数（作業完了、作業継続、作業内容等）を集計し、報告

受付班

1　主な役割

受付班は、活動前のボランティアの受付を行う。災害ボランティアセンターに来られたボランティアの最初の窓口として、災害ボランティアセンターの概略説明や１日の流れなど、ボランティアが安心して活動できるような配慮が必要となる。

また、活動終了後の報告受付を行い、活動の様子をニーズ班に引き継ぎする。

2　業　務

＜活動受付＞

1　ボランティア保険加入手続き（未加入の場合のみ）
2　ボランティア受付簿の記入
3　ボランティア名札付箋の記入
4　ボランティア活動証明書等の作成（希望者のみ）
5　自家用車使用可（現地までの乗り合わせ）の方の確認
6　マッチング会場への誘導

＜活動報告受付＞

1　リーダーより「ボランティア調整シート」を受け取り、内容をヒアリング
（1）資材返却の確認
（2）活動後のボランティア報告受付
（3）健康管理チェック（ケガや体調の悪い人の報告を受ける）
（4）会場片付け

2　ボランティア活動証明書、災害ボランティア車両高速道路通行証明書交付（希望者のみ）
（1）ボランティア活動証明書
（2）ボランティア車両証明書

3　「活動報告書」の部分に継続または完了の表示をし、継続の場合は新たに「ボランティア調整シート」を作成しニーズ班へ引継ぎ

4　活動実績の集計・報告

5　班スタッフミーティング

マッチング班

1　主な役割

マッチング班は、被災者からの様々な支援ニーズとボランティアの活動希望を結びつける役割を担い、ボランティアが安心・安全に活動できるよう、「活動場所」「活動内容」「活動上の注意事項」などを伝える。被災地の地理が不明なボランティアに対して活動場所への確実な地理案内を行う。

また、初めて顔を合わせるボランティア同士の交流も図れるよう雰囲気づくりも心がける。

2　業　務

＜事前準備＞

・マッチングのルールを確認（基本情報等の共有）
・オリエンテーションで配布する資料を用意
・ボランティア活動の内容について、「ボランティア調整シート」「活動場所の地図」をニーズ班から受取り、詳細を確認
・班リーダーが着用する佐野市社協ビブスの用意
・活動の優先順位の決定
・看板づくり（マッチング班、ボランティアへの説明事項の作成など）

「必要準備品」（参考：令和元年東日本台風時使用物品）
・コピー機　２台（仕様：カラー両面印刷可・ゼンリン地図リンク可）
・携帯電話　５台
・ホワイトボード
・事務用品（クリアファイル（色違い）、ファイル収納ボックス、付箋、テープ類）

（１）会場準備
・注意事項の掲示
・特殊ボランティア、一般ボランティアを分ける（案内看板、椅子の配置 等）
・当日のボランティア内容を掲示（主な活動内容、人数　等）
（２）当日準備
・スタッフミーティングで注意点等を確認
・予定団体の対応担当者を決定

＜前日作業＞

１　次の日の活動予定を立て、依頼主へ事前連絡

＜マッチング業務：午前＞

1　「ボランティア調整シート」をもとに５人程度のグループを編成
2　「ボランティア活動者」の欄に付箋を貼り、コピーを作成
3　リーダー、サブリーダーの決定
4　ビブスを渡し、「ボランティアの皆さんへ」をもとにオリエンテーション実施
5　「活動指示書」「地図」「ボランティアを依頼された皆様へ」をリーダーに配布
　※移動車両及び運転手の確保の検討
6　出発前に活動先への連絡
7　送り出し班への移動案内、引継ぎ

＜マッチング業務：午後＞

1　ボランティア活動後の活動状況報告受付に立ち合い、内容をヒアリング
2　翌日の活動先依頼者への確認電話がけ、事前マッチング（団体・個人）
3　活動実績の集計・報告

送り出し班

1　主な役割

送り出し班は、ボランティア活動に必要な資機材の貸出と返却、調達、在庫管理などを行う。

資機材が不足している場合や新たに必要となった場合は、総務広報班（資金）やニーズ班（必要性）と相談し、購入・レンタルなどの方法で調達する。

2　業　務

＜資機材の準備・調達＞

ボランティア活動に必要な資機材の調達、備品や物品の購入、保守、在庫管理。不足した場合の対応や補充（現地調査をするニーズ班と相談調整）
（調達方法は借用または購入・レンタルなど）

＜ボランティアへの資材の貸出、提供＞

1　「ボランティア調整シート」を確認し、備品貸出管理簿に記入
2　ボランティアに備品の使用法を説明し、必要数配布
3　ボランティア帰着後、資機材を受け取り洗浄
4　ハンドソープと消毒液での手洗い、うがいの推奨（衛生的観点）
5　「ボランティア調整シート」を受付班まで提出依頼

5　使用資機材

No	品　　名	単位	在庫	借用	合計	No	品　　名	単位	在庫	借用	合計
1	剣先スコップ	本	500		500	41	スクレイパー	個	30		30
2	角スコップ	本	500		500	42	ﾍﾙﾒｯﾄ・ﾍｯﾄﾞﾗｲﾄ	組	20		20
3	除雪用スコップ	本	130		130	43	ひじ・ひざあて	組	10		10
4	一輪車	台	130		130	44	土のう袋	枚	およそ 17 万枚（購入数）		
5	じょれん	本	30	32	62	45	養生テープ	巻			
6	レーキ	本		6	6	46	マスカーテープ	巻			
7	フォーク	本		27	27	47	スポンジ	個			
8	クワ・3 本クワ	本		10	10	48	ゴミ袋	枚			
9	移植ごて・園芸用ｽｺｯﾌﾟ	丁		31	31	49	ブルーシート	枚			
10	じゅうのう(小・中)	本	50		50	50	つなぎ防護服	着	各消耗品は大量数使用した		
11	手鍬（てすき）	本	10		10	51	レインウエア(上下)	着			
12	ツルハシ	本		6	6	52	軍手	組			
13	バール(大・中)	本		33	33	53	ゴム手袋	組			
14	のこぎり					54	防塵ﾏｽｸ(N95 規格)	枚			
15	洗車ブラシ	本	30	50	80	55	ｻｰｼﾞｶﾙﾏｽｸ(不織布)	枚			
16	ちりとり	個		33	33	56	ゴーグル	個			
17	ほうき(各種)	本		62	62	57	タオル	枚			
18	熊手	本		20	20	58	長靴	足			
19	水切りワイパー	本	50	57	107	59	運動靴	足			
20	デッキブラシ	本	50	65	115	60	安全靴	足			
21	バケツ(金属・ﾌﾟﾗ)	杯	50	142	192	61	使い捨てカイロ	個			
22	土のうｽﾀﾝﾄﾞ、土のうｶﾝ・土のうｶｺﾞ	台	50	85	135	62	ウェットティッシュ	個			
23	てみ(大、小)	杯	50	38	88						
24	トング	本		11	11						
25	フネ(浅型・深型)	杯	5	9	14						
26	折り畳みコンテナ	箱		2	2						
27	脚立(小・中・大)	台		8	8						
28	ゴミ箱(70Ｌ)	個		7	7						
29	ポリタンク	箱	20	16	36						
30	じょうろ	個		6	6						
31	ホースリール	巻		2	2						
32	ホース	本		7	7						
33	高圧洗浄機	機	2	9	11						
34	サーキュレーター	台		8	8						
35	投光器	台	5	10	15						
36	ダクトファン	台		5	5						
37	ゼロポンプ	台		2	2						
38	手洗いタンク	個	10		10						
39	靴洗いタワシ	本	20		20						
40	亀の子タワシ	個	20		20						

剣先スコップ

十能（じゅうのう）

角スコップ

手鍬（てすき）

鋤簾（じょれん）

移植ごて・園芸ｽｺｯﾌﾟ

レーキ

起こし金・スクレイパー

自在ほうき

除雪用スコップ（液状時の泥）

水切りワイパー（屋内）

てみ

バール

土のうｽﾀﾝﾄﾞ（土のうｶﾝ・土のうｶｺﾞ）

洗車ﾌﾞﾗｼ、靴洗いたわし

一輪車（浅型）

プラスチックふね（各種）

一輪車（深型）

側溝清掃器（溝さらえ）

高圧洗浄機

ダクトファン（ダクトをつけた状態）

手洗いタンク(ｺｯｸ付き)

床下もぐり作業で使用した資材

投光器（床下作業等に使用）

マスカーテープ
（屋内の養生に使用）

防塵マスク(N95 規格)

ヘルメット、ヘッドライト、ゴーグル
肘あて、ひざあて

つなぎ防護服（不織布）

6　シャトルバスの運行

ジェイアールバス関東㈱佐野支店の協力により、活動参加者の多い、土、日、祝日に佐野市駅、佐野駅と災害ボランティアセンター間のシャトルバス (無料) を運行した。

月	日	曜日	利用者数（人）	運行（協力）
１１	２	土	２８	ジェイアールバス関東㈱佐野支店
	３	日	５５	ジェイアールバス関東㈱佐野支店
	４	月祝	５５	ジェイアールバス関東㈱佐野支店
	９	土	６８	ジェイアールバス関東㈱佐野支店
	１０	日	４４	ジェイアールバス関東㈱佐野支店
	１６	土	２９	佐野市
	１７	日	２４	佐野市
	３０	土	３４	茂呂山老人福祉センター
１２	１	日	６	館林市社会福祉協議会
合　計			３４３	

佐野市ボランティア無料シャトルバス時刻表

東武鉄道（佐野市駅）→→→ＪＲ両毛線（佐野駅）→→→佐野市災害ボランティアセンター(総合福祉センター)

1 便	8：35	8：45	9：00
2 便	9：45	10：05	10：20

佐野市災害ボランティアセンター(総合福祉センター)→→→ＪＲ両毛線（佐野駅）→→→東武鉄道（佐野市駅）

1 便	16：00	16：15	16：25
2 便	16：40	16：55	17：05

【乗降場所について】
・ＪＲ両毛線佐野駅…佐野駅の南に位置する佐野市役所東側
・東部佐野市駅…駅前広場
・佐野市災害ボランティアセンター（総合福祉センター）…佐野市郷土博物館駐車場の北側

7　災害ボランティアセンター運営記録

（1）佐野市社会福祉協議会災害対策本部会議

佐野市社会福祉協議会防災計画に基づき、災害対策本部会議を開催し、ボランティアセンターの設置・運営を行った。また、佐野市社会福祉協議会事業継続計画（ＢＣＰ）に基づき通常業務の一部を停止した。

回	日付	議　　題
1	R1.10.15 (火)	(1) 災害ボランティアセンターの設置について (2) 発災時 (10/12) からの佐野市社会福祉協議会初動対応の経過について (3) 佐野市災害対策本部の会議結果について (4) 今後の対応等について 2019 ふれあいフェスティバルを中止とした。 市民や利用者に支障が生じない範囲で、事業を縮小し、災害支援対応に職員を配置する。 10/16 以降の災害ボランティアセンター配置職員について
2	R1.10.16 (水)	(1) 災害ボランティアセンター運営状況について 10/16 のボランティア受付者、依頼件数、活動件数等の報告 (2) 佐野市災害対策本部の会議結果について (3) その他 災害ボランティア活動支援プロジェクト会議より 1 名派遣された。（10/22 まで） 県社協から 3 名の職員が派遣された。 関東甲信越ブロックの市町村社協から 5 名の応援職員の派遣が決定される。 テレビ局、新聞社などマスコミからの取材状況について 休憩所の設置について ボランティア参加者の駐車場が不足しており、保健センター駐車場、厄除け大師駐車場の一部を借用依頼する。
3	R1.10.17 (木)	(1) 災害ボランティアセンターの運営状況について 10/17 のボランティア受付者、依頼件数、活動件数等の報告 (2) その他 ボランティアの受付時間を足利市と栃木市の災害ボランティアセンターと合わせ午後 1 時までとし、現場活動での開始は午前 10 時からとする。 佐野中央ライオンズクラブより軽トラックの提供し、資機材運搬の支援協力の申し出があった。
4	R1.10.18 (金)	(1) 災害ボランティアセンターの運営状況について 10/18 のボランティア受付者、依頼件数、活動件数等の報告 (2) 佐野市災害対策本部の会議結果について (3) その他 10/19 は天候不良のため活動は中止、各報道機関に周知する。 10/18 は活動中止のボランティアへの周知が遅かった。10/20 は午後の早い段階で周知する。足利市と栃木市と足並みをそろえる。 Facebook でタイムリーな情報提供をしていく。 消毒液の散布希望あり、ボランティアの作業として可能かどうか検討した。 作業内容の優先順位の検討。庭を片付けないと家の中のものが出せず片付けられない。 今のやり方では土日の平日の倍以上のボランティア対応が難しい。やり方の検討。 館林市社協応援職員派遣、沼田市社協職員・市民ボランティアでの参加連絡があった。
5	R1.10.19 (土)	(1) 災害ボランティアセンターの運営状況について 雨天のため、ボランティア活動は中止とした。 (2) その他 休日の職員配置ほかセンターの運営体制について、ボランティア参加者の大幅な増加への対応策を協議した。 駐車場に仮設トイレ 10 基を設置 資機材の不足を確認し整備した。その他、各班での対応方法を検討、受付や資機材の貸し出しや返却方法やレイアウトを見直した他、駐車場を新たに確保した。 職員派遣協力、資材提供、駐車場提供など記録簿を整備した。 災害ゴミの回収について、市への協力依頼について

回	日　付	議　　題
6	R1.10.20 (日)	(1) 災害ボランティアセンターの運営状況について 10/20 のボランティア受付者、依頼件数、活動件数等の報告 休日の大勢のボランティア参加者への対応結果を検証した。 救護者への対応として、看護師の配置を検討した。 ボランティア活動者の現場移動手段としてマイクロバスの使用を検討した。 (2) その他 土のう袋など資機材の不足と補充方法について検討した。 平日の職員体制について検討した。
7	R1.10.21 (月)	(1) 災害ボランティアセンターの運営状況について 10/21 のボランティア受付者、依頼件数、活動件数等の報告 (2) その他 10/22 雨天によるボランティア活動の中止について 高萩町会より資材等運搬用に軽トラック 1 台の提供について 野木町社協、益子町社協からの支援職員の派遣について
8	R1.10.23 (水)	(1) 災害ボランティアセンターの運営状況について 10/23 のボランティア受付者、依頼件数、活動件数等の報告 東京都内区市社協より支援職員派遣決定 10/24 ～ 11/11 イオン社員本社バスでボランティア参加 10/28、29 ＢＢステーション水害により休業、休業中は駐車場の無償提供と、従業員を派遣 11/8 まで (2) その他 災害ボランティア活動支援プロジェクト会議より交代で 1 名派遣～ 10/29 デイサービスセンターふくしの里臨時休業 10/26、11/2 日本旅行㈱によるボランティアツアーの企画実施について
9	R1.10.24 (木)	(1) 災害ボランティアセンターの運営状況について 10/24 のボランティア受付者、依頼件数、活動件数等の報告 床下の汚泥の除去など現場での作業内容の変更に伴う資機材の追加について 被災地ニーズ調査の実施について 団体でのボランティア参加者への対応について (2) その他 高萩町会から軽トラック借用中の自動車任意保険の加入について 被災したとちのみ学園へのボランティア活動にかかるボランティア保険への加入について 10/26(土)、27(日) 休日の職員配置ほか運営体制について
10	R1.10.26 (土)	(1) 災害ボランティアセンターの運営状況について 10/25、26 のボランティア受付者、依頼件数、活動件数等の報告 床下の泥出し作業を開始 重機ボランティアの参加があり団体参加のボランティアと作業した。 (2) その他 10/16 ～ 10/25 災害ボランティアセンター活動実績の振り返り ボランティア参加者受付方法及びレイアウトの見直しについて ボランティア活動依頼書兼活動指示書の記載方法の見直しについて 10/30 栃木県主催：災害ボランティア活動支援関係者による情報共有会議の開催について
11	R1.10.27 (日)	(1) 災害ボランティアセンターの運営状況について 10/27 のボランティア受付者、依頼件数、活動件数等の報告 ニーズ調査でのボランティア参加者からの情報提供の充実について 床下の泥出しのニーズが増加し、床板を外せるボランティアが必要 (2) その他 被災して 2 週間が経過、 ボランティア活動の未実施の地域への対応について 被災地ニーズ調査の継続について
12	R1.10.28 (月)	(1) 災害ボランティアセンターの運営状況について 10/28 のボランティア受付者、依頼件数、活動件数等の報告 現場での作業が複雑となってきており、ニーズ 1 件にかかるボランティアの数が増加している。 側溝の泥出し作業の依頼が増加している。 ボランティア作業後の現場への資機材回収における問題点について (2) その他 災害ボランティア活動支援プロジェクト会議より交代で 2 名派遣 11/4(祝) デイサービスセンターふくしの里 14:00 まで営業、土・日は休止とする。

回	日　付	議　　題
13	R1.10.29 (火)	(1) 災害ボランティアセンターの運営状況について 10/29 のボランティア受付者、依頼件数、活動件数等の報告 (2) その他 Facebook による災害ボランティアセンターの情報提供開始について ＮＨＫ、ＴＢＳラジオからの取材について 災害対策本部の随時開催への切り替えについて
14	R1.11.25 (月)	(1) 災害ボランティアセンターの運営状況について 依頼件数と進捗状況について 運営経費について (2) 今後の災害ボランティアセンター運営について ニーズ完了 84％に達する状況となったことから 12/2 以降、平日はボランティア募集を市内に限定し、休日は市内外に募集へと移行 12/12(日) 以降、災害ボランティアセンターをフルオープンから週末のみ開設の週末型へと移行する。 ニーズ受付とニーズ調査は継続して、毎日実施する。 ボランティア活動者の登録制への切り替え 冬期のボランティア活動での注意点について
15	R2.5.1 (金)	(1) 活動実績について (2) 災害ボランティアセンター設置期間について (3) ボランティア活動休止期間について
16	R2.5.21 (木)	(1) 災害ボランティアセンター再開について (2) 再開後の運営について (3) ボランティア活動について 「主な活動内容」「今後予想される活動内容」
17	R2.6.4 (木)	(1) 残ニーズ　現地調査報告について (2) 新型コロナウイルス対策について (3) 災害ボランティアセンターの再開について (4) 職員体制について
18	R2.7.1 (水)	(1) 災害ボランティアセンター活動実績 (2) 災害ボランティアセンターの閉所時期について
19	R2.7.30 (木)	(1) 災害ボランティアセンター活動実績 (2) 災害ボランティアセンターの閉所について

・第 2 回から第 13 回は主に各班の問題点を情報共有し協議、調整を行った。
・初回は、正副会長、常務理事兼事務局長、各課長、各支所長のほか、各施設長、所属長出席。第 2 回以降は、施設長、所属長に変え、各班長が出席した。

（2）災害発生から佐野市災害ボランティアセンター閉所まで（抜粋）

月	日	曜日	体制	社協災害対策本部会議	運営体制、その他	備　考
令和元年10	12	土			台風第19号により被災	市社協「非常体制」
10	13	日	設置準備		職員安否確認、業務休業検討、災害ボランティアセンター設置準備、ボランティア活動相談、ニーズ相談受付	
10	14	月祝	設置準備		ボランティア活動相談、ニーズ相談受付	
10	15	火	設置 ニーズ受付・現地調査	第1回	・第1回市社協災害対策本部会議開催。災害ボランティアセンター設置を決定 ・災害ボランティアセンター設置（初日は、ニーズ受付、現地調査のみ）	
10	16	水	フルオープン	第2回	ボランティア受入開始	市社協災害対策本部会議は、第2回目以降、第13回までは、基本的に連日開催。災害ボランティアセンターの各班の実績報告及び調整事項を協議
10	17	木	フルオープン	第3回		
10	18	金	フルオープン	第4回	雨天により午後休止	
10	19	土	フルオープン	第5回	天候不良（雨天）のため休止	
10	20	日	フルオープン	第6回		
10	21	月	フルオープン	第7回		
10	22	火	フルオープン		天候不良のため休止 （祝日　即位の礼正殿の儀）	
10	23	水	フルオープン	第8回		
10	24	木	フルオープン	第9回		関ブロ職員派遣開始 （東京都5名） （第1クールのみ6名）
10	25	金	フルオープン		天候不良（雨天）のため休止	
10	26	土	フルオープン	第10回		
10	27	日	フルオープン	第11回		
10	28	月	フルオープン	第12回		
10	29	火	フルオープン	第13回		
11	2	土	フルオープン		交通指導員による駐車場誘導協力5名	シャトルバス運行28人 （ジェイアールバス関東㈱佐野支店）
11	3	日	フルオープン		交通指導員による駐車場誘導協力5名	シャトルバス運行55人 （ジェイアールバス関東㈱佐野支店）
11	4	月	フルオープン		交通指導員による駐車場誘導協力5名	シャトルバス運行55人 （ジェイアールバス関東㈱佐野支店）
11	9	土	フルオープン			シャトルバス運行68人 （ジェイアールバス関東㈱佐野支店）
11	10	日	フルオープン			シャトルバス運行44人 （ジェイアールバス関東㈱佐野支店） 関ブロ職員派遣増員（群馬県） （東京都5名、群馬県3名）
11	11	月	フルオープン		天候不良（雨天）のため休止	
11	17	日	フルオープン			シャトルバス運行29人 （ジェイアールバス関東㈱佐野支店）
11	18	月	フルオープン			シャトルバス運行24人 （佐野市）

月	日	曜日	体制	社協災害対策本部会議	運営体制、その他	備　考
11	23	土	フルオープン		天候不良（雨天）のため休止	
11	24	日	フルオープン		天候不良（雨天）のため休止	
11	25	月	フルオープン	第14回	市社協災害対策本部会議にて、運営体制の移行時期を協議（フルオープンから週末型への移行） ※一旦は、1月12日を閉所日とした。のちに、市との協議により延長	
11	28	木	フルオープン		ボランティア1名が体調不良のため活動現場よりドクターヘリにて大学病院へ搬送。	12/24 無事退院
11	30	土	フルオープン		災害ボランティア登録受付開始	シャトルバス運行34人 （茂呂山老人福祉センター）
12	1	日	フルオープン			シャトルバス運行6人 （館林市社協） 関ブロ派遣減員開始
12	2	月	市内ボランティア		天候不良（雨天）のため休止	平日は市内ボランティアのみ受付
12	3	火	市内ボランティア			平日は市内ボランティアのみ受付
12	4	水	市内ボランティア			平日は市内ボランティアのみ受付
12	5	木	市内ボランティア			平日は市内ボランティアのみ受付
12	6	金	市内ボランティア			平日は市内ボランティアのみ受付
12	8	日	フルオープン			関ブロ職員派遣終了
12	9	月	週末型		土日活動の週末型に移行	
12	14	土	週末型			市内・県内外受付
12	15	日	週末型			市内・県内外受付
12	18	水	週末型			ボランティア減少による不用資機材を災害ボランティア備蓄品倉庫として使用する旧船津川小へ搬入
12	21	土	週末型			市内・県内外受付
12	22	日	週末型			市内・県内外受付
12	24	火	週末型			ボランティア減少による不用資機材をにいがた災害ボランティアネットワークへ返却。今後も使用する一部の物品は継続して借用
12	27	金	週末型			仕事納め日
					年末年始休業	【12/28（土）～1/5（日）】
令和2年 1	6	月	週末型			仕事始め日
1	11	土	週末型			市内・県内外受付
1	12	日	週末型		週末型最終日（当日受付のボランティア活動の終了）	市内・県内外受付
1	13	月	随時型		ボランティア登録者による随時型に移行	随時型へ体制変更
1	18	土	随時型		登録ボランティアによる活動	随時実施
1	26	日	随時型		登録ボランティアによる活動	随時実施
2	1	土	随時型		登録ボランティアによる活動	
2	8	土	随時型		登録ボランティアによる活動	
2	10	月	随時型		調査のみ	うるうるパック配付

月	日	曜日	体制	社協災害対策本部会議	運営体制、その他	備　考
2	12	水	随時型		調査のみ	うるうるパック配付
2	13	木	随時型		調査のみ	うるうるパック配付
2	16	日	随時型		登録ボランティアによる活動	
2	22	土	随時型		登録ボランティアによる活動	
2	25	火	休止		新型コロナウイルス感染拡大防止のため災害ボランティアセンターでのボランティア派遣は当面の間休止（佐野市からの要請受）（ニーズ受付は継続して実施）	当面ボランティア活動休止 依頼受付及び調査は続行
5	1	金	休止	第15回		
5	21	木	休止	第16回	市社協災害対策本部会議にて災害ボランティアセンター再開時期を協議	
5	25	月	休止			（全国で新型コロナウイルス感染症緊急事態解除宣言）
6	4	木	休止	第17回	市社協災害対策本部会議にて災害ボランティアセンター再開を決定	
6	5	金	休止			6/5までボランティア活動を休止した
6	6	土	活動再開 随時型		ボランティア活動再開	新型コロナウイルス対策として市内在住の登録ボランティアのみによる活動
6	13	土	随時型		市内在住の登録ボランティアによる活動	
6	20	土	随時型		市内在住の登録ボランティアによる活動	
6	30	火	随時型			6/30高速道路無料化終了（NEXCO東日本）
7	1	水	随時型	第18回	市社協災害対策本部会議にて災害ボランティアセンター閉所見込みを協議	
7	5	日	随時型		市内在住の登録ボランティアによる活動	
7	21	火	随時型		市内在住の登録ボランティアによる活動	
7	29	水	随時型		市復興推進会議により災害ボランティアセンター閉所を了承	
7	30	木	随時型	第19回	市社協災害対策本部会議にて災害ボランティアセンター閉所を決定	
7	31	金	随時型		閉所式 佐野市社協会長あいさつ、市内関係者、職員出席	

※閉所日以降、支援ニーズがある場合は通常業務 (ボランティアセンター事業）で行う。

※市内の被災地域の世帯訪問は継続して行う。

※うるうるパック…企業（日本経済団体連合会 1％クラブの協力など）や団体、個人からの寄付でいただいた日用品などを袋詰めにして、被災世帯へのニーズ確認や声かけ訪問時に配布した。「うるうるパック」は、災害ボランティア活動支援プロジェクト会議がこれまでの被災地支援で使用していた実績のある名称で、佐野市災害ボランティアセンターにおいてもその名称を使用した。

＜うるうるパックの例＞

＜メッセージカード作り＞

＜うるうるパック作り＞

（３）ボランティアの受入れ体制について

災害ボランティアセンターは開設時期によりボランティアの受入体制などを変えながら運営した。

時　期	体　制	説　　明
令和元年 10/16 ～ 12/1	フルオープン	市内、県内、県外等の居住地の指定なしでボランティアの受入れを行う。事前登録なし。
12/2 ～ 12/8	市内ボランティアのみ	市内に居住するボランティアのみの受入れを行う。事前登録なし。
12/9 ～ 1/12	週末型	週末土日のみ、ボランティアの受入れを行う。ボランティアの受入れはフルオープンと同じ。事前登録なし。
令和２年 1/13 ～ 2/22	随時型	ニーズに応じて必要なボランティアを募集する。事前登録制で登録者にのみボランティア募集の情報をメールで発信し希望者を募る。
2/25 ～ 6/5	休　止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ボランティア活動を休止。ニーズの受付、現地調査は継続した。
6/6 ～ 7/31	随時型	ニーズに応じて必要なボランティアを募集する。事前登録制。新型コロナウイルス対策として、市内在住の登録ボランティアに限定し募集した。

（4）時系列ごとのボランティア活動と災害ボランティアセンター運営体制

活動内容	平　　時	被災、災害ボランティアセンター設置準備	初　　期
災害ボランティアセンターの運営状況	通常業務の中で行う準備が中心となる	平時の準備を具体的にするための準備、依頼等。使用する様式、チラシ等の印刷。特設ホームページやFacebook の作成及び情報発信。スタッフ体制の確保。	ボランティア活動者が多く、依頼件数も多い。社協職員は業務の一時停止などがあり災害ボランティアセンター業務に人手が割かれる。(一社)佐野青年会議所などの協力も多い。
災害ボランティアセンター設置訓練	毎年開催。併せて運営マニュアルの見直しなどを行う。		
災害ボランティアセンター運営スタッフ	社協職員、関係機関・団体より募集し、災害ボランティアセンター運営スタッフの人材育成を行う。	社協内部、関係機関、団体へ連絡し災害ボランティアセンター運営スタッフ人員の確保。 災害ボランティアセンター運営スタッフのシフト体制の検討。	災害ボランティアセンター運営スタッフ依頼、シフト表の作成
被災状況の確認、情報収集	他の自治体等での被災状況確認。被災者支援の検討、実施	関係機関へ被災状況確認。地域団体からの情報収集。	
使用する資機材手配	予算計上し、計画的に必要資機材の備蓄を行う。	必要資機材の手配。消耗品の購入。	
関係機関、団体へ協力依頼	協定書の取り交わし	必要に応じ協定に基づき協力依頼。	
屋外泥出し		佐野市へ泥の回収など、泥出し後の処理について確認する。	まずは屋外の泥出しを行い、屋内の家財運び出しのスペースを作る。作業量に応じて、活動者数を調整する。 作業量に応じて、重機ボランティアの手配を検討する。
屋内泥出し			床上浸水宅の作業。 初期は家財の運び出しと一体として作業される。
屋外清掃、屋外のごみ出し		佐野市へ災害ごみの取り扱いについて確認する。	屋外の災害ごみの整理、ゴミ出し。初期は屋外の泥出しと一緒に依頼されることが多い。
屋内の災害ごみ、家財運びだし		佐野市へ災害ごみの取り扱いについて確認する。	主に床上浸水宅の作業。 屋外に運び出しの場所を確保したあと作業を行う。
床板はがし		床下の対応を被災状況を見ながら検討しておく。	基本的には依頼主が工務店などへ依頼し、床板はがしを行う。ボランティアへの依頼ニーズを蓄積し、専門的な知識のある活動可能なボランティアを募集する。
床下泥出し（床板全はがし）			
床下泥出し（床下もぐり）			
ニーズ掘り起こし			地区社協、町会、地区民児協などを通して情報提供、周知などを進める。
被災者生活ニーズ支援			

中　　期	後　　期	確認期	閉所及び閉所後
ボランティア活動者のリピーターの割合が増えてくる。社協職員は社協通常業務の割合が増える。フェーズの移り変わり。	活動者が少なくなり、残ニーズへ限られた運営スタッフで対応する。 被災地域でのニーズの掘り起こしなどで、手つかずの被災者宅や個人で作業をされていた方などから依頼が出てくる。 週末型や登録型への移行。 関係機関と閉所に向けた協議を行う。	新たな依頼が出ないか確認する。閉所行事の有無確認及びその準備。	閉所行事の実施。 運営マニュアルの見直し。活動報告書の作成。
			新たなマニュアルによる設置訓練
スタッフ依頼、シフト表の作成。通常業務と並行し運営調整を行う。	スタッフ減に伴い、兼務体制をとる。	随時、支援ニーズに対応し、運営スタッフを手配。	新たなマニュアルによりスタッフ育成を検討する。
			必要な資機材の見直し
			協力体制の見直し、追加
泥の量、面積により作業量に差がある。作業量が多い現場は、重機ボランティアの作業を検討する。			
専門的な知識を有するボランティアが活動できる日に、蓄積した依頼ニーズを中心に作業を進める。旧来の日本家屋と、板の間、コンパネベタ打ちの床板があり対応が異なる。			
床板をはがし終わっている現場について、オリエンテーションで作業内容、注意点を説明する。			
専門的な知識のあるボランティアを募集し実施。	床下もぐりのリピーターが増え、ボランティア参加者の経験値が上がる。		
運営スタッフやボランティアによる戸別訪問による聞き取り確認する。	主にボランティアによる戸別訪問による聞き取り確認を継続する。生活ニーズをまとめ支援を検討。	ボランティアグループへ被災地域への声かけ活動を依頼	平時のボランティア活動で被災者への声かけ等の継続
社協事業と連携し、被災者の生活ニーズへの対応を検討する。	ニーズ掘り起こしからの意見を確認し、社協通常事業必要な支援を検討し対応する。		

（5）ボランティア受付から活動終了までの流れ

（さの社協だより vol.60　2020.2.1 発行より抜粋）

活動後洗濯されたビブス

（６）佐野市災害ボランティアセンター記録写真

佐野市社協災害対策本部会議

第１回社協災害対策本部会議

出井会長を本部長とし災害対策本部を組織

第２回～第１９回社協災害対策本部会議

佐野市長災害ボランティアセンター視察説明

総務広報班

Facebook ページの開設

シャトルバスの運行

キッチンカーによるコーヒー配付

ボランティア活動者に配布

・ボランティア活動者に茂呂山老人福祉センターの入浴施設を無料開放する。

ニーズ班

・ニーズ調査済ケース、ボランティア活動完了ケース、再ニーズ調査ケース、ローラー調査ケースなどを色分けして地図に落とし込んで表示した。

ニーズ班会場１階(電話受付)

ニーズ班会場２階(現地調査記録、地図作成作業)

現地調査(床下)

ニーズ取りこぼし防止策（ローラー作戦）

受付班

ボランティア受付(初期)

ボランティア受付(中期)

ボランティア受付(後期)

活動報告受付(初期)

活動報告受付(屋内)

佐野市民への応援メッセージ投函箱

マッチング班

マッチング会場

マッチング会場

マッチング班会場(作業)

マッチング会場(後期)

マッチング班オリエンテーション

マッチング班オリエンテーション

送り出し班

送り出し班会場(午前)

送り出し班受付

資材の受け渡し

送り出し会場より活動現場へ(徒歩)

送り出し会場(午後)

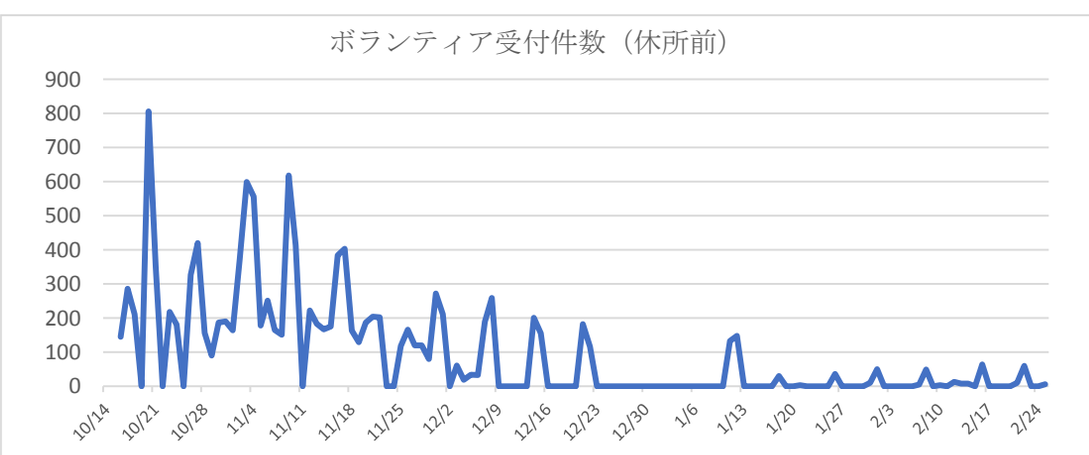
活動修了後の長靴の洗浄

8　災害ボランティアセンター活動実績

月	ボランティア受付数(人)						ニーズ受付件数(件)	キャンセル数(件)	活動件数(件)	完了件数(件)	残ニーズ件数(件)
	受付件数	男	女	市内	県内	県外					
１０月計	3, 568	2, 599	969	1, 006	469	2, 093	518	74	442	201	243
１１月計	6, 763	5, 001	1, 762	1, 129	747	4, 887	385	116	813	428	84
１２月計	1, 460	1, 102	358	331	283	846	90	32	171	101	41
１月計	360	261	99	90	70	200	15	12	40	31	13
２月計	285	199	86	106	51	128	30	4	27	14	25
３月計	0	0	0	0	0	0	4	7	0	0	22
４月計	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	20
５月計	0	0	0	0	0	0	4	10	0	0	14
６月計	80	58	22	72	4	4	3	3	19	13	1
７月計	11	8	3	11	0	0	1	0	2	2	0
合　計	12, 527	9, 228	3, 299	2, 745	1, 624	8, 158	1, 051	261	1, 514	790	0

※ボランティア数は、災害ボランティアセンター運営スタッフとして協力いただいた団体等のボランティアを含まない。

※キャンセル件数について、１件の依頼で数回の支援実績があっても、本人の申し出により支援途中で以降の支援をキャンセルとした依頼は完了とせず、全てキャンセル数に含めた。



9　資金、決算状況

収　入　　（単位：円）

勘定科目	収入額	摘　要
寄附金収入	2,112,952	
経常経費寄附金収入	2,112,952	災害ボランティアセンターへの寄付
経常経費補助金収入	9,518,000	
市補助金収入	1,518,000	佐野市（土のう袋購入費）
共同募金配分金収入	7,000,000	災害等準備金収入
その他の補助金収入	1,000,000	公益財団法人 大和証券福祉財団
収入合計	11,630,952	

支　出　　（単位：円）

勘定科目	支出額	摘　要
事業費支出合計	8,984,991	
消耗器具備品費支出	6,104,014	土のう袋、使用資機材他
電気料	409,124	電気料金
水道料	117,860	返却資機材の洗浄他
車輌燃料費支出	152,846	車輌燃料
通信運搬費支出	630,779	借用資機材送料、電話料他
業務委託費支出	437,745	駐車場警備業務他
保守料支出	623,332	LGWAN
手数料支出	1,320	銀行振込手数料
保険料支出	45,150	学生ボランティアボランティア活動保険料
賃借料支出	462,821	コピー機使用料他
器具及び備品取得支出合計	1,244,320	発電機、パソコン他
支出合計	10,229,311	

繰越金　　1,401,641 円

※通常業務のボランティアセンター事業において繰り越され、災害時に使用する資機材や消耗品などの整備等に使用する。

※人件費は別に支出した。

※令和２年７月３１日現在

１０　ボランティア活動保険の受付実績

月	基本プラン				天災・地震補償プラン				合　計	
	基本Ａ	金額	基本Ｂ	金額	天災Ａ	金額	天災Ｂ	金額	合計	合計
	件数	@350円	件数	@510円	件数	@500円	件数	@710円	件数	金額(円)
１０月	1,102	385,700	34	17,340	169	84,500	52	36,920	1,357	524,460
１１月	1,035	362,250	16	8,160	108	54,000	78	55,380	1,237	479,790
１２月	244	85,400	3	1,530	15	7,500	1	710	263	95,140
１月	22	7,700	0	0	0	0	0	0	22	7,700
２月	26	9,100	1	510	4	2,000	0	0	31	11,610
６月	26	9,100			1	500			27	9,600
７月	0	0			1	500			1	500
合　計	2,455	859,250	54	27,540	298	149,000	131	93,010	2,938	1,128,800

・災害ボランティアセンターのボランティア受付業務の一環で、ボランティア活動保険の未加入者に対し、ボランティア活動保険の加入受付を行った。
・保険料はボランティア負担とした。（一部を除く）
※佐野市災害ボランティアセンターでは、活動するボランティアにボランティア活動保険の加入を募集要件とした。
※全国社会福祉協議会により、「大規模災害特例」が適用とされたため、被災地の災害ボランティアセンターにおいて活動日当日のボランティア活動保険加入が可能となった。

１１　行政との連携、関係機関、協力団体

（１）佐野市との連携

課　名	係　名	用　　務
市民活動促進課	市民活動促進係	市助成金の申請 災害ボランティアセンター活動実績の報告
	地域支援係	町会長連合会との連携
危機管理課	防災係	佐野市災害対策本部会議 被災地の情報、スコップ、一輪車等資材手配、仮設トイレ設置、義援物資
復興推進室	復興推進係	復興関係事業
環境政策課	環境政策係	災害ごみ、土のう袋の回収
クリーン推進課		災害ごみ、土のう袋の回収
社会福祉課	管理係	人件費予算関係
健康増進課		被災宅健康状態確認
都市整備課	公園緑地係	被災公園の泥出し依頼受け
道路河川課	管理係	土のう袋の回収情報の提供
産業立市推進課	産業立市推進係	義援物資（飲料水、マスク等）
消防本部		土のう袋、スコップ貸与

（２）関係機関、運営協力団体

関係機関・協力団体	活動内容
佐野市町会長連合会	ボランティア募集周知・参加
佐野市ボランティア協会	災害ボランティアセンター運営スタッフ コーヒー無料配布
市内ライオンズクラブ	軽トラックボランティア周知・参加 土のう袋等の寄付
一般社団法人　佐野市青年会議所	災害ボランティアセンター運営スタッフ 土のう袋手配
社会福祉法人　とちのみ会	災害ボランティアセンター運営スタッフ
社会福祉法人　ブローニュの森	災害ボランティアセンター運営スタッフ
ＮＰＯ法人　風の詩	災害ボランティアセンター運営スタッフ
市民活動センターここねっと	災害ボランティアセンター運営スタッフ 災害ボランティアグループの組織化支援 ボランティア使用更衣室として会議室の提供
交通指導員	駐車場への車両誘導
春日岡山　惣宗寺	駐車場の借用
公益社団法人 佐野市シルバー人材センター	災害ボランティアセンター設置の会場等借用

関係機関・協力団体	活動内容
高萩町　環境衛生委員会	軽トラックの借用
ジェイアールバス関東（株）佐野支店	ボランティア送迎無料シャトルバスの運行
（株）ＪＴＢ	ボランティアツアーの企画・実施
災害ボランティア活動支援プロジェクト会議（支援Ｐ）	災害ボランティアセンター運営コーディネート（12 名）
関東甲信越ブロック社会福祉協議会	災害ボランティアセンター運営スタッフ （延べ 464 名） 東京都社協、千代田区社協、新宿区社協、 文京区社協、台東区社協、墨田区社協、 江東区社協、品川区社協、目黒区社協、 大田区社協、世田谷区社協、杉並区社協、 豊島区民社協、荒川区社協、板橋区社協、 練馬区社協、葛飾区社協、江戸川区社協、 立川市社協、武蔵野市民社協、三鷹市社協、 府中市社協、昭島市社協、調布市社協、 小金井市社協、小平市社協、東村山市社協、 国分寺市社協、国立市社協、東久留米市社協、 武蔵村山市社協、羽村市社協、西東京市社協、 瑞穂町社協、日の出町社協 群馬県社協、高崎市社協、桐生市社協、 伊勢崎市社協、太田市社協、沼田市社協、 藤岡市社協、安中市社協、みどり市社協、 中之条町社協、嬬恋村社協、片品村社協、 川場村社協、昭和村社協、みなかみ町社協 千代田町社協、大泉町社協
県内市町社会福祉協議会	災害ボランティアセンター運営スタッフ （延べ 151 名） 真岡市、大田原市、矢板市、さくら市、 上三川町、益子町、壬生町、野木町、 那珂川町
館林市社会福祉協議会	災害ボランティアセンター運営スタッフ（延べ 67 名）、シャトルバス運行
栃木県社会福祉協議会	災害ボランティアセンター運営スタッフ、資機材手配（延べ 70 名）

（３）寄付者、協力団体

①寄付者一覧（寄付金・物品）（敬称略・順不同）

災害ボランティアセンター活動に多くの団体、個人の皆様からご寄付をいただきありがとうございました。ここでは、団体名のみを掲載いたします。

３Ｍジャパン（株）	（株）グループセブジャパン
ＡＪＩＳＡＩ	（株）渋谷クロスＦＭ
エスケミ（株）	（株）ダイトーコーポレーション

(株) アグティ	(株) 寺岡製作所　佐野工場
(株) あなはら	(宗) 台元寺・佐野百観音
(有) 関口金物	ＡＰＭ ＪＡＰＡＮ（株）
(有) ヒカリ事務機	（特非）日本防災士機構
(有) 広島屋製菓	朝倉市社会福祉協議会
日光グルマンズ和牛	あそ商工会青年部
サポウィズ	石巻市立湊こども園
三桜工業（株）	大田区くさっぱら公園
（宗）真如苑	上三川町立明治小学校
丹誠塾	関東観光コンサルタント（株）
ツクイ佐野赤坂	佐野市仏教会
福興浜団	佐野市ボランティア協会
安沢ほほえみ会	芳賀町社会福祉協議会
ノア外語学院	館林市立第一小学校
東京リネンサービス（株）	田沼地区　上町東町会
ローソン埼玉東	ゆうゆうパソコンクラブ
（株）伊藤園	松吉医科器械（株）
テクノワールド（株）	宮田石灰（株）
東神鋲螺工業（株）	メンタルヘルスボランティアフレンド
足利市役所	復興ボランティア casa de Rosa
（特非）みはらまちづくり兎っ兎	嬬恋村社会福祉協議会
３３３－Ｂ地区１Ｒ２Ｚ (ライオンズクラブ)	栃木県社会福祉協議会
（特非）にいがた災害ボランティアネットワーク	栃木県立足利中央特別支援学校ＰＴＡ
五家英子とみんなで楽しく踊ろう会佐野支部	とちぎコープ生活協同組合
災害ボランティア支援プロジェクト会議	とちぎコープ生活協同組合西那須野センター
佐野市音訳ボランティアやまびこの会	佐野信用金庫
佐野たちばな幼稚園父母の会	豊中市社会福祉協議会
佐野地区社会福祉協議会	成田山東京別院深川不動堂
佐野日本大学高等学校同窓会学園支部	日本信号（株）久喜事業所
佐野日本大学短期大学　学友会	野木町社会福祉協議会
ハラウフラオレイオハナ　アロハ会	館林市教職員組合邑楽支部
佐野日本大学短期大学　社会福祉士・介護福祉士フィールド一同	栃木レスキューサポートバンクネットワーク

②団体参加ボランティア一覧 （敬称略・順不同）

多くのボランティアの皆様にご協力をいただきました。ここでは、延べ１０名以上で活動いただいた団体の皆様を紹介させていただきます。

(学) 佐野日本大学高等学校　サッカー部	桐生災害支援ボランティアセンター
(学) 佐野日本大学高等学校　硬式野球部	藤岡災害ボランティアサークル
(学) 佐野日本大学短期大学	東京消防庁ボランティア部会
明治大学ボランティアサークルＳＨＩＰ	刈谷市民ボランティア活動センター
(学) 群馬医療福祉大学	神奈川県災害ボランティアネットワーク
早稲田大学ボランティアセンター	日光市災害ボランティア支援センター
(大) 宇都宮大学	陸前高田復興支援グループ
古河市立総和南中学校	日本女性会議さの（関係者）
茨城県立古河第二高等学校	栃木県シルバー大学校きのこクラブ
(学) 矢板中央高等学校　特進コース	とちぎコープ生活協同組合コープデリ足利センター
(大) 高崎経済大学	法音寺災害支援部会
埼玉県立春日部高等学校　剣道部	佐野市町会長連合会
(学) 永井学園 青藍泰斗高等学校　教員	杉並災害ボランティアの会
(学) 永井学園 青藍泰斗高等学校　生徒	Ｋｉｓｓ　ｉｎ　ｈａｒｔ
(特非) 小さな一歩	東神鋲螺工業（株）
ジブラルタ生命保険（株）群馬支社	(株) 山田製作所
日本信号（株）　有志の会	積水ハウス関東工場
佐野ベリーズ	(株) 三菱ＵＦＪフィナンシャルグループ
佐野信用金庫	(一社) リバイブジャパン
マルタ組	東京大山キリスト教会
イオン（株）	(宗) 真如苑ＳｅＲＶ東京
三桜工業（株）	(宗) 真如苑ＳｅＲＶ立川
チーム井上	(宗) 真如苑ＳｅＲＶ栃木
葛飾空衛会	(宗) 真如苑ＳｅＲＶ群馬
信濃会	障がい者施設事業協会
日本生活協同組合連合会	サントリーホールディングス（株）
三菱商事（株）	(一社) しんきん保証基金
本島建設（株）	野木山想会
(株) グループセブジャパン	河本工業（株）
日本賃貸保証（株）	(株) ＪＴＢ　ボランティアバスツアー
日本ミシュランタイヤ（株）	芳賀町社会福祉協議会
大田原市社会福祉協議会	高根沢社会福祉協議会
群馬県社会福祉協議会	上三川町社会福祉協議会
大泉町社会福祉協議会	沼田市社会福祉協議会
さくら市社会福祉協議会	群馬県社会福祉協議会
栃木県社会福祉協議会	稲城市社会福祉協議会
春日部市社会福祉協議会	野木町社会福祉協議会
泉佐野市社社会福祉協議会	長岡市社会福祉協議会

（株）大丸松坂屋百貨店	加須市社会福祉協議会
明和町役場	栃木県社会福祉協議会職員連絡協議会
三菱商事（株）サステナビリティ・ＣＳＲ復興支援チーム	佐野市医師会付属佐野准看護学校
埼玉県立越谷南高校ワンダーフォーゲル部	埼玉県立春日部高等学校　剣道部
プルデンシャル生命保険（株）首都圏第２支社	群馬県立桐生南高等学校　野球部
青山学院大学ＳＨＡＮＴＩＳＨＡＮＴＩ国際ボランティア愛好会	

○上記の皆様はもとより、個人や少人数でのご参加やご寄付を頂いたにもかかわらず匿名など掲載されていない方も多数おられます。多くの皆様に佐野市災害ボランティアセンターの活動を支えていただきました。皆様の多大なるご支援ご協力に心より深く感謝申し上げます。

寄付のマスクとメッセージカード

宮城県石巻の子どもたちからメッセージ

全国各地、世界各国の皆様が災害ボランティア活動に参加してくださいました

第３章　振返り、検証

1　災害ボランティアセンター運営についての課題、改善点

総務広報班	
1	インターネットを使用できない人への配慮が足りなかったのではないか。
	被災地域を戸別訪問し、ボランティア依頼の確認を行った。（中期以降） 初動での対応について、平時の取り組みも含め地域組織との連携をとる。
2	天候が微妙な予報の場合、雨天中止の周知が遅れた。
	主にホームページで雨天中止の発表をしていたが、天候は常に変化するため、あくまでも予報を確認して発表する必要があり、微妙な天候では雨天中止の判断が遅れがちになる。「天気次第で中止」となる旨の情報を早めに出して置き、中止を検討していることを事前に知らせる必要がある。
受付班	
3	平時の訓練からマニュアル通りに活動報告書を作成した方が良い。
	災害ボランティアセンター設置訓練において、活動報告書の作成など省略していたが、様式の記入も含め具体的な訓練を実施する。
4	活動終了時に活動報告が集中し、報告の聞き取り作業が慌ただしかった。
	集中する時間帯にスタッフを厚くするよう平時に複数の作業が出来るよう人材育成を行う。
5	ボランティア活動の継続や終了など、状況報告がニーズ班に伝わっていないことが多く、活動者の声が反映されなかった。
	各ニーズに対してボランティア活動の進捗状況等が関係各班で情報共有できるようなルーティーンをつくり、平時の設置訓練時に実施する。
6	団体受付で事前にマッチング班との打ち合わせが不十分な事例があった。
	団体受付の窓口が個人業務になっていた。複数のスタッフで情報共有しながら十分な打合せを行う。
ニーズ班	
7	ニーズ班は、電話受付が１階事務室、その他の作業が２階会議室と作業場所が分かれていたので、スタッフのミーティングができなかった。
	ニーズ班の中でもニーズ受付係と現地調査・作業係などグループを分けてミーティングを行う。
8	電話での対応について、スタッフにより聞き取りが違うので電話対応についての共通理解が必要だった。
	電話対応の確認項目の整理を行い、平時の災害ボランティアセンター設置訓練において作業項目の共通理解を深めておく。
9	開所当初は問い合わせが多く、電話受付で１件の対応に時間がかかるため、対応が間に合わない状態があった。繋がらないという状況が少なくなるよう対応できればよかった。
	電話での確認項目やボランティアセンターで対応する活動内容を整理しスタッフで情報共有を行う。
10	初期のニーズへの対応について、ボランティアが「できる」作業か「できない」作業かの知識が不足していた。
	マニュアルへの記載及び平時の訓練で活動事例など具体的な内容を研修しておく。

11	初期段階では、災害ボランティアセンターへのニーズの対応について、何をどこまで行うのか決まっていなかった。床下に潜っての泥出し作業など、事前に想定できていなかった。
	災害ボランティアセンターで対応するボランティア活動を、フェーズごとにまとめ、全てのスタッフが把握しておく。 （災害ボランティアセンターの運営中に変更がある場合は、その旨スタッフ全員に周知する。）
12	初期段階で現地調査時の質問内容や現地の状況を確認したが人数や資機材がどのくらい必要なのか作業量の目安が分からなかった。
	今回の災害ボランティアセンターでの現地調査の実績を整理し記録しておく。また、他の災害での活動実績などを確認し災害ボランティアセンター運営マニュアルに反映させる。
13	依頼内容や現地調査での確認が不足していると、活動場所や、細かい作業内容の情報がなく、前日準備の連絡調整や当日のマッチングで時間がかかった。 訪問宅の現地調査で、泥の柔らかさなど分かればスコップ１つにしても選び方が変わってくる。把握する情報を精査する必要がある。
	ニーズ班の現地調査での確認項目、作業量などの見立てについて、実績を整理して記録しておく。また、送り出し班では、適切な資機材を使用する。各班で必要な確認項目を協議し一覧を作成する。
マッチング班	
14	マッチング班が、午後の活動報告で聞き取りを行えれば、どの作業がどこまで終わっているかなど、よりよく把握できたのではないかと思う。
	今回の運営状況を検証し、班ごとの業務を見直しする。
15	なるべく待ち時間を少なくし、速やかに活動ができるような方法を検討する。
	災害ボランティアセンター設置直後は、特にボランティア参加者数も多く、運営に慣れていなかったため、待ち時間が長くなってしまった。平時の活動として災害ボランティアセンター設置訓練での練習や、他団体からの運営スタッフの受け入れができるよう連携を取っておく。
16	待っているボランティアに、もう少し職員一人一人が気配りできる余裕を持った行動が必要だった。
	ボランティア参加者が多い日は、マッチングで時間がかかる傾向があった。初めてボランティア活動に参加する方も多いので、緊張をほぐしたり、待ち時間を有効に過ごせる仕組みを作ると良い。
17	マッチングする際に何を伝えるのか、マニュアルなどを確認しながら説明できるとよかった。
	災害ボランティアセンター運営マニュアルにオリエンテーション内容を具体的にまとめ、平時の設置訓練で確認しておく。
18	マッチングしたグループへ説明するためのスペースが不足していた。
	会場の限られた空間を活かせるよう、各班の作業の内容とスペースのレイアウトを見直し出来るよう検討の機会を設ける。
19	地図などのコピーをとるのに、同時に複数のコピーをとる場合が多く、複数のグループが集中した場合に時間がかかった。
	事前に準備できるものは、時間を調整して作業を進める。

送り出し班	
20	混雑時と閑散時の差が大きいので、対応する職員の配置を時間によって変更できると良い。
	時間帯でスタッフを入替できるよう、運営スタッフのスケジュールを調整する。
21	資機材の知識が乏しかったため、分からないことがあった。
	必要な資機材の知識は、全てのスタッフが理解しておく必要があり、平時の取り組みとして設置訓練など災害ＶＣスタッフ育成の内容に組み入れる。
22	返還された資機材の、洗浄作業をボランティアに依頼できれば良かった。
	ボランティアの活動メニューに入れる。
23	ボランティア活動者が多い日は、活動を終え、一斉に帰ってくると資材返却の対応が追いつかず、車と人が一か所に集中し危険があった。
	運営スタッフの配置を時間帯で変え、人手が必要な部署の人員体制を増やす。
その他	
24	災害ボランティアセンターの規模が縮小していくにあたって、１人のスタッフが受け持つ役割の兼務が増え、担当の分掌が明確でなくなってしまった。
	規模縮小になるにつれ、スタッフ数が限られ、一人の兼務が増える。最後まで関わるスタッフは、どの役割でもこなせるよう人材育成を行う。
25	サテライト運営ができなかった。
	サテライト設置を始めから想定した災害ボランティアセンター設置マニュアルの整備が必要。設置場所、役割、必要機器、資機材などの確認。
26	毎日スタッフの入れ替えがあったが、前日までに災害ボランティアセンターのスタッフの配置が分かると良かった。
	活動するスタッフは各部署から１週間前に報告されている。災害ボランティアセンター各班への配置は、運営状況を確認しながら２日前に周知できるようにする。
27	通常業務より災害ボランティアセンタースタッフ業務を最優先としたため、通常業務との同時並行が困難だった。
	関係機関や団体から運営スタッフの受け入れなど行い、スタッフ数を確保し、佐野市社会福祉協議会の通常業務との両立を図る。
28	今回の災害の教訓を生かす活動や平時の地域づくり、地域コミュニティの再生を後押しする活動支援や投げかけが、まだ十分できていない。
	地域コミュニティの再生、被災住民の生活福祉ニーズへの支援などについて、社協の通常業務での対応を含め検討する。
29	被災者支援活動の終期に、ニーズ件数が少なくなってきたのにそれを上回る団体ボランティアの予約が入り、調整に苦慮した。
	ボランティア参加者数がマッチングできる件数（予定人数）とずれが生じた場合に備えて、活動を手配しておく。（急ぎではない案件を整理しておく） 団体による参加者は事前に日時、人数の目安がつくので日程を調整する際に、受付時点でマッチングを終了させる。
30	開設時期は、多くの職員が休みを取らず参加していた。はじめからローテーションを組んで休める体制づくりが必要だった。
	平時より、協力団体との連携を深め、災害ＶＣ設置訓練など行いスタッフの育成を行う。どこの班でも活動できるよう複数班の役割を理解しておく。
31	毎日、終了後に行う各班の実績報告の集計が上がるのに時間を要した。
	毎日の実績報告に必要数値の把握、集計作業は、ルーティンワークとして位置づけしておく。

2　ボランティア活動に参加して

災害ボランティアセンターの運営やボランティア活動にご参加いただきました団体の皆様からコメントをいただきました。ご協力ありがとうございました。
(敬称略、順不同)

【質問事項】
①「ボランティア活動に参加したきっかけ」
②「活動をして感じたこと」
③「佐野市災害ボランティアセンターでのボランティア活動で印象に残っていること」
④「今後の活動について」

	団体名：佐野市ボランティア協会
	代表者：会長　廣瀬　幹雄
	記入者：副事務局長　須藤　豊

①「災害ボランティア活動に参加したきっかけ」
佐野市ボランティア協会は、社協主催の「佐野市災害ボランティアセンター」設置運営訓練に参加し、知識・実践技術を習得してきました。今回の台風災害では、市民の安心・安全が脅かされおり、習得した知識・技術を活かすことができると思いました。また、社協からの要請もあり、会員同士の呼びかけもしました。

②「活動をして感じたこと」
国内・海外から、また中学生・高校生・大学生、個人・団体と様々な方たちが多数参加して頂いてとても感動しました。個人としては、現場にも入りましたが、被災者からお礼を言われたことは感慨深いものがあります。参加できたことは貴重な経験となりました。

③「佐野市災害ボランティアセンターでのボランティア活動で印象に残っていること」
佐野市ボランティア協会として、ボランティアの受け入れ及びコーヒーの無料提供をしました。作業から帰ってきたボランティアの方々に作ったコーヒーがとても喜ばれました。このことが影響しているわけではないと思いますが、ボランティアのリピーターが多くいたように感じます。また、様々な被災地でボランティア活動をしている方々から「佐野市の活動が一番」との評価は“佐野市災害ボランティアセンター”の評価だと思います。

④「今後の活動について」
佐野市ボランティア協会として、佐野市・社会福祉協議会等と連携を取りながら今後もボランティア活動を会員の皆様と続けて行きたいと思います。しかしながら、昨今の「新型コロナ」の影響で活動自粛を余儀なくされていることも事実です。
少子高齢化・核家族化が速いスピードで進行している現在、また、アフター・コロナに向けて等、新しい時代のボランティアのあり方も考えて行かなければならないとも思っています。活動自粛をしている時だからこそ、時代に合ったボランティア活動が出来るように個々人の意識と技術を高めていくことが重要だと思います。

	団体名：さのボラねっと
	代表者：松永　実加
	記入者：松永　実加

①「災害ボランティア活動に参加したきっかけ」
　阪神､東日本などの災害時に何かしたくても行動に移せなかった。今回地元が被災し、友人宅、知り合いつながりで社協での活動に初参加。平日は午前中だけなど、仕事に行く前に参加することができた。

②「活動をして感じたこと」
　広島から学校を休んで来ていた高校生。自分が被災した時に助けてもらった恩返しがしたいと、自腹で泊りがけでの活動に参加、他、全国から駆け付けてくるボランティアの熱量は圧倒された。同じ市内とは思えない悲惨な状況に衝撃を受けた。被災していない地域との温度差も感じた。

③「佐野市災害ボランティアセンターでのボランティア活動で印象に残っていること」
　学校支援など、平常時からボランティアに関わっていたが、災害時に集まるボランティアのパワーはすごい。このパワーを受け止めて、初心者でも活動しやすかった。さらに今後も長く継続できるような支援につなげていただけたことは、大変有難く感じています。

④「今後の活動について」
　災害、防災を通じて地域の人たちとのつながりを増やして「今をプラス」にする。次の世代へとつなげていけるような、無理のない楽しむことも忘れない活動を心掛けていきたい。

団体名：ＴＡ－ＳＵ－ＫＥ隊

代表者：加藤　友美

記入者：加藤　友美

①「災害ボランティア活動に参加したきっかけ」
　自分の住む街が災害にあい、「他人事ではない」、「力になりたい」という思いから。

②「活動をして感じたこと」
　一人や家族だけでは時間を要することも、多くのボランティアの力でスムーズにいくこともあり復興へ近づいていくことを実感しました。それと共に自分も次なる活動への力をもらった。

③「佐野市災害ボランティアセンターでのボランティア活動で印象に残っていること」
　活動後に被災された方が元気になり、笑顔が増えていること。
　「皆さんに力をもらえてもう少し頑張ります！」と言ってもらえたこと。

④「今後の活動について」
　まだ、手の届いていない場所への手伝いと、災害予防活動を引き続き行う。

団体名：一般社団法人 佐野青年会議所

代表者：伊藤　真弘

記入者：伊藤　真弘

①「災害ボランティア活動に参加したきっかけ」
　青年会議所として、災害復興に何とか貢献したいという思い、今自分たちにできることを行動に移そうと考えていた。同時に、社会福祉協議会からの依頼等もあり、災害ボランティアセンターの手伝いをすることになった。

②「活動をして感じたこと」
　佐野青年会議所は、ボランティアセンターの送り出し班も手伝っていた。ボランティア自体が初めての人と、経験がある人が混在しているため、必要な物資の受け渡しに手間取ってしまった。ただ、全ての人が、何とか復興の手助けをしたいという思いを持っていることは、強く感じながら活動していた。

③「佐野市災害ボランティアセンターでのボランティア活動で印象に残っていること」
　全国各地から、また、高校の部活動として来る等、年齢も性別も様々な人がボランティアとして佐野に来ていただいていることに、感謝の気持ちを強くした。

④「今後の活動について」
　青年会議所は全国的にあり、情報や必要な物資に関して迅速に連絡を取れる組織でもある。社会福祉協議会とも日頃から情報交換をするなど、連携をとっていきたいと考えている。

	団体名：佐野日本大学短期大学
	代表者：佐藤　三武朗
	記入者：佐藤　佳子

①「災害ボランティア活動に参加したきっかけ」
佐野市内唯一の大学・短期大学として、さまざまな専門的知識・技術をもった学生の力を地域のために活かし、貢献していかなければならないと考えたため。

②「活動をして感じたこと」
災害ボランティアには多岐に渡る仕事があり、活動として立ち上げるニーズが無数にあることを知りました。またそれらに対し、学生たちの特技を活かすことで、活動内容や可能性が広がることを学生たちを見ていて感じました。

③「佐野市災害ボランティアセンターでのボランティア活動で印象に残っていること」
　遠方から泊まり込みで来てくださったボランティアの方々の笑顔やパワーに同じボランティアとして元気をもらったこと。普段、おとなしい学生も笑顔でボランティアの方々と会話を楽しんでいたり、被災者の気持ちを最優先に活動していたことには学生たちの成長を感じました。
　また職員の方々が休む暇なく働いていたこと。全国から派遣された団体の職員の方々が、佐野市災害ボランティアセンターの職員の働きやすさを優先し、自分たちで互いに連携をとりながら、引継ぎを行い動いていたこと。

④「今後の活動について」
　本学の役割は地元の短期大学であることを生かして、細くとも長く、当時を学生たちに伝え、被災者の方々に寄り添う活動を続けることだと思っています。さらに今後も、佐野市、佐野市社会福祉協議会と連携しながら、日頃から防災や災害支援活動の知識を高めていきたいと考えます。

第4章　資　料　編

1　佐野市災害ボランティアセンター活動実績

月	日	曜日	ボランティア受入体制	社協災害本部会議開催	運営体制、その他	運営スタッフ（人）	ボランティア数		ニーズ受付件数		キャンセル数		活動件数		完了件数	
							受付件数	累計	新規	累計	件数	累計	件数	累計	件数	累計
令和元年 10	12	土			台風第 19 号により被災											
10	13	日	設置準備		職員安否確認、業務休業検討、災害ボランティアセンター設置準備、ボランティア活動相談、ニーズ相談受付	2										
10	14	月	設置準備		ボランティア活動相談、ニーズ相談受付	2			5	5						
10	15	火	設置	第1回	・第１回市社協災害対策本部会議開催。災害ボランティアセンター設置を決定 ・災害ボランティアセンター設置（初日は、ニーズ受付、現地調査のみ）				55	60						
10	16	水	フルオープン	第2回	・ボランティア受入開始 ・市社協災害対策本部会議（第２回目以降、第 13 回までは、基本的に連日開催）災害ボランティアセンターの各班の実績報告及び調整事項を協議	20	145	145	63	123	-3	-3	20	20	4	4
10	17	木	フルオープン	第3回		45	286	431	79	202	-1	-4	18	38	8	12
10	18	金	フルオープン	第4回	雨天により午後休止	40	211	642	44	246	-4	-8	18	56	4	16
10	19	土	フルオープン	第5回	天候不良（雨天）のため休止	43	0	642	12	258	-9	-17		56		16
10	20	日	フルオープン	第6回		70	806	1,448	21	279	-5	-22	92	148	26	42
10	21	月	フルオープン	第7回		39	351	1,799	39	318	-3	-25	45	193	25	67
10	22	火	フルオープン		天候不良のため休止 （祝日　即位の礼正殿の儀）	16	0	1,799	7	325	-6	-31		193		67
10	23	水	フルオープン	第8回		36	218	2,017	33	358	-6	-37	30	223	13	80
10	24	木	フルオープン	第9回	関ブロ職員派遣（東京都５名） 開始（第１ｹｰﾙのみ６名）	39	181	2,198	19	377	-1	-38	27	250	19	99
10	25	金	フルオープン		天候不良（雨天）のため休止	27	0	2,198	14	391	-6	-44		250		99
10	26	土	フルオープン	第10回		66	327	2,525	8	399	-4	-48	48	298	21	120
10	27	日	フルオープン	第11回		68	420	2,945	36	435	-7	-55	55	353	32	152
10	28	月	フルオープン	第12回		44	156	3,101	31	466	-7	-62	25	378	10	162
10	29	火	フルオープン	第13回		44	90	3,191	12	478	-3	-65	16	394	6	168
10	30	水	フルオープン			44	187	3,378	23	501	-9	-74	24	418	19	187
10	31	木	フルオープン			37	190	3,568	17	518		-74	24	442	14	201
11	1	金	フルオープン			45	164	3,732	17	535	-5	-79	27	469	15	216
11	2	土	フルオープン		交通指導員駐車場誘導協力５名 シャトルバス（ジェイアールバス関東（株）佐野支店）28 人	68	373	4,105	12	547	-3	-82	53	522	31	247
11	3	日	フルオープン		交通指導員駐車場誘導協力５名 シャトルバス（ジェイアールバス関東（株）佐野支店）55 人	58	599	4,704	16	563	-9	-91	73	595	45	292
11	4	月	フルオープン		交通指導員駐車場誘導協力５名 シャトルバス（ジェイアールバス関東（株）佐野支店）55 人	49	556	5,260	23	586	-1	-92	61	656	34	326
11	5	火	フルオープン			33	178	5,438	16	602	-4	-96	29	685	15	341
11	6	水	フルオープン			29	251	5,689	8	610	-1	-97	27	712	8	349

月	日	曜日	ボランティア受入体制	社協災害本部会議開催	運営体制、その他	運営スタッフ（人）	ボランティア数		ニーズ受付件数		キャンセル数		活動件数		完了件数	
							受付件数	累計	新規	累計	件数	累計	件数	累計	件数	累計
11	7	木	フルオープン			40	165	5,854	9	619	-2	-99	22	734	12	361
11	8	金	フルオープン			37	151	6,005	11	630	-7	-106	24	758	13	374
11	9	土	フルオープン		シャトルバス（ジェイアールバス関東（株）佐野支店）68 人	39	618	6,623	21	651	-6	-112	58	816	23	397
11	10	日	フルオープン		シャトルバス（ジェイアールバス関東（株）佐野支店）44 人 関ブロ職員派遣増員（東京都５名、群馬県３名）増員は群馬分	54	413	7,036	44	695		-112	44	860	18	415
11	11	月	フルオープン		天候不良（雨天）のため休止	27	0	7,036	5	700		-112		860		415
11	12	火	フルオープン			47	222	7,258	12	712	-8	-120	28	888	13	428
11	13	水	フルオープン			45	183	7,441	14	726	-5	-125	26	914	12	440
11	14	木	フルオープン			48	167	7,608	11	737	-4	-129	22	936	6	446
11	15	金	フルオープン			38	175	7,783	9	746	-6	-135	20	956	9	455
11	16	土	フルオープン			52	384	8,167	11	757	-9	-144	39	995	14	469
11	17	日	フルオープン		シャトルバス（ジェイアールバス関東（株）佐野支店）29 人	53	403	8,570	9	766	-12	-156	47	1,042	32	501
11	18	月	フルオープン		シャトルバス（佐野市バス）24 人	35	163	8,733	17	783	-4	-160	21	1,063	14	515
11	19	火	フルオープン			51	129	8,862	9	792	-6	-166	19	1,082	11	526
11	20	水	フルオープン			47	187	9,049	13	805	-3	-169	21	1,103	11	537
11	21	木	フルオープン			39	204	9,253	8	813		-169	21	1,124	12	549
11	22	金	フルオープン			41	202	9,455	7	820		-169	19	1,143	11	560
11	23	土	フルオープン		天候不良（雨天）のため休止	27	0	9,455	8	828	-5	-174		1,143		560
11	24	日	フルオープン		天候不良（雨天）のため休止	30	0	9,455	13	841	-2	-176		1,143		560
11	25	月	フルオープン	第14回	市社協災害対策本部会議にて、運営体制の移行時期を協議（フルオープン→週末型へ）	33	118	9,573	12	853	-2	-178	15	1,158	8	568
11	26	火	フルオープン			46	166	9,739	12	865	-5	-183	19	1,177	11	579
11	27	水	フルオープン			38	120	9,859	15	880	-2	-185	17	1,194	11	590
11	28	木	フルオープン			44	120	9,979	10	890	-1	-186	16	1,210	8	598
11	29	金	フルオープン			44	80	10,059	9	899	-1	-187	16	1,226	12	610
11	30	土	フルオープン		登録ボランティア受付開始 シャトルバス（茂呂山福祉バス）34 人	43	272	10,331	4	903	-3	-190	29	1,255	19	629
12	1	日	フルオープン		シャトルバス（館林社協バス）６人 関ブロ派遣職員減員開始	50	211	10,542	4	907	-1	-191	25	1,280	14	643
12	2	月	市内のみ		天候不良（雨天）のため休止 平日は市内ボランティアのみ受付	20	0	10,542	10	917	-3	-194		1,280		643
12	3	火	市内のみ		平日は市内ボランティアのみ受付	16	61	10,603	4	921	-2	-196	9	1,289	7	650
12	4	水	市内のみ		平日は市内ボランティアのみ受付	26	19	10,622	4	925	-2	-198	5	1,294	2	652
12	5	木	市内のみ		平日は市内ボランティアのみ受付	27	34	10,656	3	928	-1	-199	6	1,300	3	655

月	日	曜日	ボランティア受入体制	社協災害本部会議開催	運営体制、その他	運営スタッフ（人）	ボランティア数		ニーズ受付件数		キャンセル数		活動件数		完了件数	
							受付件数	累計	新規	累計	件数	累計	件数	累計	件数	累計
12	6	金	市内のみ		平日は市内ボランティアのみ受付	15	33	10,689	1	929	-1	-200	6	1,306	2	657
12	7	土	フルオープン			35	189	10,878	5	934	-2	-202	21	1,327	14	671
12	8	日	フルオープン		関ブロ職員派遣終了	36	259	11,137	13	947	-1	-203	31	1,358	21	692
12	9	月	週末型		土日活動の週末型に移行		0	11,137	3	950		-203		1,358		692
12	10	火	週末型				0	11,137	6	956		-203		1,358		692
12	11	水	週末型				0	11,137	3	959	-3	-206		1,358		692
12	12	木	週末型				0	11,137	3	962	-2	-208		1,358		692
12	13	金	週末型				0	11,137	0	962	-1	-209		1,358		692
12	14	土	フルオープン		市内・県内外受付	26	201	11,338	2	964	-2	-211	20	1,378	13	705
12	15	日	フルオープン		市内・県内外受付	22	155	11,493	6	970	-2	-213	19	1,397	9	714
12	16	月	週末型				0	11,493	4	974		-213		1,397		714
12	17	火	週末型				0	11,493	1	975	-2	-215		1,397		714
12	18	水	週末型		資機材の一部を災害ボランティア用具の倉庫へ搬入		0	11,493	5	980		-215		1,397		714
12	19	木	週末型				0	11,493	1	981	-1	-216		1,397		714
12	20	金	週末型				0	11,493	2	983	-1	-217		1,397		714
12	21	土	フルオープン		市内・県内外受付	32	182	11,675	0	983	-2	-219	16	1,413	8	722
12	22	日	フルオープン		市内・県内外受付	29	116	11,791	3	986	-3	-222	13	1,426	8	730
12	23	月	週末型				0	11,791	2	988		-222		1,426		730
12	24	火	週末型		借用資機材の一部を返却 一部の物品は継続して借用		0	11,791	1	989		-222		1,426		730
12	25	水	週末型				0	11,791	2	991		-222		1,426		730
12	26	木	週末型				0	11,791	1	992		-222		1,426		730
12	27	金	週末型		仕事納め日		0	11,791	1	993		-222		1,426		730
					年末年始休業（12/28㈯～ 1/5㈰）											
令和2年1	6	月	週末型		仕事始め日		0	11,791	1	994	-2	-224		1,426		730
1	7	火	週末型				0	11,791		994	-1	-225		1,426		730
1	8	水	週末型				0	11,791		994		-225		1,426		730
1	9	木	週末型				0	11,791		994		-225		1,426		730
1	10	金	週末型				0	11,791		994		-225		1,426		730
1	11	土	フルオープン		市内・県内外受付	29	133	11,924	1	995	-5	-230	14	1,440	10	740
1	12	日	フルオープン		市内・県内外受付	43	148	12,072		995	-2	-232	16	1,456	13	753
1	13	月	随時型		ボランティア登録による随時型に移行 随時型へ体制変更		0	12,072		995		-232		1,456		753
1	14	火	随時型				0	12,072	3	998		-232		1,456		753
1	15	水	随時型				0	12,072	1	999		-232		1,456		753
1	16	木	随時型				0	12,072		999		-232		1,456		753
1	17	金	随時型				0	12,072		999		-232		1,456		753
1	18	土	随時型		登録ボランティアによる活動		30	12,102		999		-232	3	1,459	3	756
1	19	日	随時型				0	12,102		999		-232		1,459		756

月	日	曜日	ボランティア受入体制	社協災害本部会議開催	運営体制、その他	運営スタッフ（人）	ボランティア数		ニーズ受付件数		キャンセル数		活動件数		完了件数	
							受付件数	累計	新規	累計	件数	累計	件数	累計	件数	累計
1	20	月	随時型				0	12,102	2	1,001		-232		1,459		756
1	21	火	随時型				3	12,105	1	1,002	-1	-233	1	1,460	1	757
1	22	水	随時型				0	12,105	1	1,003	-1	-234		1,460		757
1	23	木	随時型				0	12,105		1,003		-234		1,460		757
1	24	金	随時型				0	12,105		1,003		-234		1,460		757
1	25	土	随時型				0	12,105		1,003		-234		1,460		757
1	26	日	随時型		登録ボランティアによる活動		36	12,141	5	1,008		-234	5	1,465	4	761
1	27	月	随時型				0	12,141		1,008		-234		1,465		761
1	28	火	随時型				0	12,141		1,008		-234		1,465		761
1	29	水	随時型				0	12,141		1,008		-234		1,465		761
1	30	木	随時型				0	12,141		1,008		-234	1	1,466		761
1	31	金	随時型				10	12,151		1,008		-234		1,466		761
2	1	土	随時型		登録ボランティアによる活動		50	12,201	5	1,013		-234	5	1,471	2	763
2	2	日	随時型				0	12,201		1,013		-234		1,471		763
2	3	月	随時型				0	12,201		1,013		-234		1,471		763
2	4	火	随時型				0	12,201		1,013		-234		1,471		763
2	5	水	随時型				0	12,201		1,013		-234		1,471		763
2	6	木	随時型				0	12,201		1,013		-234		1,471		763
2	7	金	随時型				5	12,206	0	1,013	-1	-235	1	1,472	1	764
2	8	土	随時型		登録ボランティアによる活動		49	12,255	4	1,017		-235	5	1,477	2	766
2	9	日	随時型				0	12,255		1,017		-235		1,477		766
2	10	月	随時型		調査のみ（うるうるパック配付）		3	12,258	5	1,022		-235		1,477		766
2	11	火	随時型				0	12,258	5	1,027		-235		1,477		766
2	12	水	随時型		調査のみ（うるうるパック配付）		13	12,271	1	1,028		-235		1,477		766
2	13	木	随時型		調査のみ（うるうるパック配付）		8	12,279	0	1,028		-235		1,477		766
2	14	金	随時型				8	12,287	0	1,028		-235	1	1,478	1	767
2	15	土	随時型				0	12,287		1,028		-235		1,478		767
2	16	日	随時型		登録ボランティアによる活動		64	12,351	2	1,030		-235	7	1,485	3	770
2	17	月	随時型				0	12,351		1,030		-235		1,485		770
2	18	火	随時型				0	12,351		1,030	-1	-236		1,485		770
2	19	水	随時型				0	12,351		1,030		-236		1,485		770
2	20	木	随時型				0	12,351		1,030		-236		1,485		770
2	21	金	随時型				10	12,361		1,030		-236	1	1,486	1	771
2	22	土	随時型		登録ボランティアによる活動		60	12,421	1	1,031		-236	7	1,493	4	775
2	23	日	随時型				0	12,421		1,031		-236		1,493		775
2	24	月	随時型				0	12,421		1,031		-236		1,493		775
2	25	火	休止		新型コロナウィルス感染拡大防止のため災害ボランティアセンターでのボランティア派遣は当面の間休止（佐野市からの要請受）（ニーズ受付は継続して実施）		6	12,427	7	1,038		-236		1,493		775
2	26	水	休止		当面ボランティア活動休止 調査は続行		5	12,432		1,038		-236		1,493		775
2	27	木	休止				2	12,434		1,038		-236		1,493		775
2	28	金	休止				2	12,436		1,038	-2	-238		1,493		775

月	日	曜日	ボランティア受入体制	社協災害本部会議開催	運営体制、その他	運営スタッフ（人）	ボランティア数		ニーズ受付件数		キャンセル数		活動件数		完了件数	
							受付件数	累計	新規	累計	件数	累計	件数	累計	件数	累計
2	29	土	休止				0	12,436		1,038		-238		1,493		775
3	1	日	休止				0	12,436		1,038		-238		1,493		775
3	2	月	休止				0	12,436	1	1,039		-238		1,493		775
3	3	火	休止				0	12,436	1	1,040	-1	-239		1,493		775
3	4	水	休止				0	12,436	1	1,041		-239		1,493		775
3	5	木	休止				0	12,436		1,041		-239		1,493		775
3	6	金	休止				0	12,436		1,041		-239		1,493		775
3	7	土	休止				0	12,436		1,041		-239		1,493		775
3	8	日	休止				0	12,436		1,041		-239		1,493		775
3	9	月	休止				0	12,436		1,041		-239		1,493		775
3	10	火	休止				0	12,436		1,041	-1	-240		1,493		775
3	11	水	休止				0	12,436		1,041		-240		1,493		775
3	12	木	休止				0	12,436		1,041		-240		1,493		775
3	13	金	休止				0	12,436		1,041		-240		1,493		775
3	14	土	休止				0	12,436		1,041		-240		1,493		775
3	15	日	休止				0	12,436		1,041		-240		1,493		775
3	16	月	休止				0	12,436		1,041	-1	-241		1,493		775
3	17	火	休止				0	12,436		1,041	-1	-242		1,493		775
3	18	水	休止				0	12,436		1,041	-2	-244		1,493		775
3	19	木	休止				0	12,436	1	1,042		-244		1,493		775
3	20	金	休止				0	12,436		1,042		-244		1,493		775
3	21	土	休止				0	12,436		1,042		-244		1,493		775
3	22	日	休止				0	12,436		1,042		-244		1,493		775
3	23	月	休止				0	12,436		1,042	-1	-245		1,493		775
3	24	火	休止				0	12,436		1,042		-245		1,493		775
3	25	水	休止				0	12,436		1,042		-245		1,493		775
3	26	木	休止				0	12,436		1,042		-245		1,493		775
3	27	金	休止				0	12,436		1,042		-245		1,493		775
3	28	土	休止				0	12,436		1,042		-245		1,493		775
3	29	日	休止				0	12,436		1,042		-245		1,493		775
3	30	月	休止				0	12,436		1,042		-245		1,493		775
3	31	火	休止				0	12,436		1,042		-245		1,493		775
4	1	水	休止				0	12,436		1,042		-245		1,493		775
4	2	木	休止				0	12,436		1,042		-245		1,493		775
4	3	金	休止				0	12,436		1,042		-245		1,493		775
4	4	土	休止				0	12,436		1,042		-245		1,493		775
4	5	日	休止				0	12,436		1,042		-245		1,493		775
4	6	月	休止				0	12,436		1,042		-245		1,493		775
4	7	火	休止				0	12,436		1,042		-245		1,493		775
4	8	水	休止				0	12,436		1,042		-245		1,493		775
4	9	木	休止				0	12,436		1,042		-245		1,493		775
4	10	金	休止				0	12,436		1,042		-245		1,493		775
4	11	土	休止				0	12,436		1,042		-245		1,493		775

月	日	曜日	ボランティア受入体制	社協災害本部会議開催	運営体制、その他	運営スタッフ（人）	ボランティア数		ニーズ受付件数		キャンセル数		活動件数		完了件数	
							受付件数	累計	新規	累計	件数	累計	件数	累計	件数	累計
4	12	日	休止				0	12,436		1,042		-245		1,493		775
4	13	月	休止				0	12,436		1,042	-2	-247		1,493		775
4	14	火	休止				0	12,436		1,042		-247		1,493		775
4	15	水	休止				0	12,436		1,042		-247		1,493		775
4	16	木	休止				0	12,436		1,042		-247		1,493		775
4	17	金	休止				0	12,436		1,042		-247		1,493		775
4	18	土	休止				0	12,436		1,042		-247		1,493		775
4	19	日	休止				0	12,436		1,042		-247		1,493		775
4	20	月	休止				0	12,436		1,042		-247		1,493		775
4	21	火	休止				0	12,436		1,042		-247		1,493		775
4	22	水	休止				0	12,436		1,042		-247		1,493		775
4	23	木	休止				0	12,436		1,042		-247		1,493		775
4	24	金	休止				0	12,436		1,042		-247		1,493		775
4	25	土	休止				0	12,436		1,042		-247		1,493		775
4	26	日	休止				0	12,436		1,042		-247		1,493		775
4	27	月	休止				0	12,436	1	1,043		-247		1,493		775
4	28	火	休止				0	12,436		1,043		-247		1,493		775
4	29	水	休止				0	12,436		1,043		-247		1,493		775
4	30	木	休止				0	12,436		1,043	-1	-248		1,493		775
5	1	金	休止	第15回			0	12,436		1,043		-248		1,493		775
5	2	土	休止				0	12,436		1,043		-248		1,493		775
5	3	日	休止				0	12,436		1,043		-248		1,493		775
5	4	月	休止				0	12,436		1,043		-248		1,493		775
5	5	火	休止				0	12,436		1,043		-248		1,493		775
5	6	水	休止				0	12,436		1,043		-248		1,493		775
5	7	木	休止				0	12,436	1	1,044		-248		1,493		775
5	8	金	休止				0	12,436		1,044		-248		1,493		775
5	9	土	休止				0	12,436		1,044		-248		1,493		775
5	10	日	休止				0	12,436		1,044		-248		1,493		775
5	11	月	休止				0	12,436		1,044		-248		1,493		775
5	12	火	休止				0	12,436		1,044		-248		1,493		775
5	13	水	休止				0	12,436		1,044		-248		1,493		775
5	14	木	休止				0	12,436		1,044		-248		1,493		775
5	15	金	休止				0	12,436	1	1,045	-8	-256		1,493		775
5	16	土	休止				0	12,436		1,045		-256		1,493		775
5	17	日	休止				0	12,436		1,045		-256		1,493		775
5	18	月	休止				0	12,436		1,045		-256		1,493		775
5	19	火	休止				0	12,436	1	1,046		-256		1,493		775
5	20	水	休止				0	12,436		1,046	-1	-257		1,493		775
5	21	木	休止	第16回	市社協災害対策本部会議にて災害ボランティアセンター再開時期を協議		0	12,436		1,046		-257		1,493		775
5	22	金	休止				0	12,436		1,046		-257		1,493		775
5	23	土	休止				0	12,436		1,046		-257		1,493		775

月	日	曜日	ボランティア受入体制	社協災害本部会議開催	運営体制、その他	運営スタッフ（人）	ボランティア数		ニーズ受付件数		キャンセル数		活動件数		完了件数	
							受付件数	累計	新規	累計	件数	累計	件数	累計	件数	累計
5	24	日	休止				0	12,436		1,046		-257		1,493		775
5	25	月	休止				0	12,436		1,046		-257		1,493		775
5	26	火	休止				0	12,436		1,046		-257		1,493		775
5	27	水	休止				0	12,436		1,046		-257		1,493		775
5	28	木	休止				0	12,436	1	1,047	-1	-258		1,493		775
5	29	金	休止				0	12,436		1,047		-258		1,493		775
5	30	土	休止				0	12,436		1,047		-258		1,493		775
5	31	日	休止				0	12,436		1,047		-258		1,493		775
6	1	月	休止				0	12,436		1,047	-2	-260		1,493		775
6	2	火	休止				0	12,436	1	1,048		-260		1,493		775
6	3	水	休止				0	12,436		1,048		-260		1,493		775
6	4	木	休止	第17回	市社協災害対策本部会議にて災害ボランティアセンター再開を決定		0	12,436		1,048		-260		1,493		775
6	5	金	休止		6/5までボランティア活動を休止した		0	12,436		1,048		-260		1,493		775
6	6	土	随時型		ボランティア活動再開 市内在住の登録ボランティアによる活動		16	12,452		1,048		-260	5	1,498	2	777
6	7	日	随時型				0	12,452		1,048		-260		1,498		777
6	8	月	随時型				0	12,452		1,048		-260		1,498		777
6	9	火	随時型				1	12,453		1,048		-260	2	1,500	1	778
6	10	水	随時型				0	12,453		1,048		-260		1,500		778
6	11	木	随時型				5	12,458		1,048		-260	1	1,501	1	779
6	12	金	随時型				0	12,458		1,048	-1	-261		1,501		779
6	13	土	随時型		市内在住の登録ボランティアによる活動		16	12,474		1,048		-261	2	1,503	1	780
6	14	日	随時型				0	12,474		1,048		-261		1,503		780
6	15	月	随時型				0	12,474		1,048		-261		1,503		780
6	16	火	随時型				0	12,474		1,048		-261		1,503		780
6	17	水	随時型				3	12,477		1,048		-261	1	1,504	1	781
6	18	木	随時型				0	12,477		1,048		-261		1,504		781
6	19	金	随時型				0	12,477		1,048		-261		1,504		781
6	20	土	随時型		市内在住の登録ボランティアによる活動		35	12,512		1,048		-261	6	1,510	5	786
6	21	日	随時型				0	12,512		1,048		-261		1,510		786
6	22	月	随時型				0	12,512		1,048		-261		1,510		786
6	23	火	随時型				1	12,513		1,048		-261	1	1,511	1	787
6	24	水	随時型				0	12,513		1,048		-261		1,511		787
6	25	木	随時型				0	12,513	2	1,050		-261		1,511		787
6	26	金	随時型				0	12,513		1,050		-261		1,511		787
6	27	土	随時型				0	12,513		1,050		-261		1,511		787
6	28	日	随時型				0	12,513		1,050		-261		1,511		787
6	29	月	随時型				3	12,516		1,050		-261	1	1,512	1	788
6	30	火	随時型		高速道路無料化終了（NEXCO東日本）		0	12,516		1,050		-261		1,512		788
7	1	水	随時型	第18回	市社協災害対策本部会議にて災害ボランティアセンター閉所見込みを協議		0	12,516		1,050		-261		1,512		788

月	日	曜日	ボランティア受入体制	社協災害本部会議開催	運営体制、その他	運営スタッフ（人）	ボランティア数		ニーズ受付件数		キャンセル数		活動件数		完了件数	
							受付件数	累計	新規	累計	件数	累計	件数	累計	件数	累計
7	2	木	随時型				0	12,516		1,050		-261		1,512		788
7	3	金	随時型				0	12,516		1,050		-261		1,512		788
7	4	土	随時型				0	12,516		1,050		-261		1,512		788
7	5	日	随時型		市内在住の登録ボランティアによる活動		5	12,521		1,050		-261	1	1,513	1	789
7	6	月	随時型				0	12,521		1,050		-261		1,513		789
7	7	火	随時型				0	12,521		1,050		-261		1,513		789
7	8	水	随時型				0	12,521		1,050		-261		1,513		789
7	9	木	随時型				0	12,521		1,050		-261		1,513		789
7	10	金	随時型				0	12,521	1	1,051		-261		1,513		789
7	11	土	随時型				0	12,521		1,051		-261		1,513		789
7	12	日	随時型				0	12,521		1,051		-261		1,513		789
7	13	月	随時型				0	12,521		1,051		-261		1,513		789
7	14	火	随時型				0	12,521		1,051		-261		1,513		789
7	15	水	随時型				0	12,521		1,051		-261		1,513		789
7	16	木	随時型				0	12,521		1,051		-261		1,513		789
7	17	金	随時型				0	12,521		1,051		-261		1,513		789
7	18	土	随時型				0	12,521		1,051		-261		1,513		789
7	19	日	随時型				0	12,521		1,051		-261		1,513		789
7	20	月	随時型				0	12,521		1,051		-261		1,513		789
7	21	火	随時型		市内在住の登録ボランティアによる活動		6	12,527		1,051		-261	1	1,514	1	790
7	22	水	随時型				0	12,527		1,051		-261		1,514		790
7	23	木	随時型				0	12,527		1,051		-261		1,514		790
7	24	金	随時型				0	12,527		1,051		-261		1,514		790
7	25	土	随時型				0	12,527		1,051		-261		1,514		790
7	26	日	随時型				0	12,527		1,051		-261		1,514		790
7	27	月	随時型				0	12,527		1,051		-261		1,514		790
7	28	火	随時型				0	12,527		1,051		-261		1,514		790
7	29	水	随時型		市復興推進会議により災害ボランティアセンター閉所を了承		0	12,527		1,051		-261		1,514		790
7	30	木	随時型	第19回	市社協災害対策本部会議にて災害ボランティアセンター閉所を決定		0	12,527		1,051		-261		1,514		790
7	31	金	随時型		閉所式 会長あいさつ、職員、関係者写真撮影		0	12,527		1,051		-261		1,514		790

2　新聞記事

下野新聞社提供　令和元年 10 月 14 日（月）

掲載日：2019年10月14日、面名：社会、記事ID：KIJ2019101４_01003000101207001
(C) 下野新聞社　無断複製転載禁止。

深夜の決壊 濁流一気

秋山川の堤防決壊の影響で、浸水被害が発生した市道（12日午前6時ごろ、佐野市出流町、栃木市大蔵町）

佐野・秋山川

「死ぬところだった」

沿岸住民 口々に恐怖

台風19号の影響で12日夜に一部の区間が決壊した佐野市の秋山川近くでは、大量の水が住宅街を襲った。「死ぬところだった」「あっという間に腰まで浸かった」―。川沿いに住む住民らは11日、口々に恐怖を語った。同市の防災担当部局は緊急記者会見を開き「秋山川の状況は私の知る限り初めて。国などの支援を仰ぎながら復旧を進め、市民が安心できる形を図っていきたい」と述べた。

秋山川の近くに住む同市大蔵町、石川一男さん（73）と妻洋子さん（68）の自宅は同日午前6時ごろ、水位が一気に腰の高さを超えた。水をかき分けるようにして無事避難したという。一男さんは「あのままそこにいたら死ぬところだった。人生最大の災害だった」と表情をこわばらせた。

同所、解体業男性（50）は同日夜、外に避難しようとすると、水圧でドアが開かないことに気付いたという。「まずい。閉じ込められた」。パニックになりつつも、必死でドアをこじ開けると、胸付近までは（記者推定）ったく水の勢いは上がり、近所の車なども水没していたという。

同市出流原町、無職田中孝喜さん（65）は「朝4時に目を覚ますと、周りが海のようだった」と振り返る。救助活動をする自衛隊に向かって窓から家にあるオールを振り、ボートで救出された。避難所に移動した田中さんは「ここまでの被害になるとは！」と信じられない様子で話した。

市の今後の対応について松本一仁市長代理は「がれきの受け入れを呼び掛けるのか、早急に検討したい。消毒液の配布や避難者への十分なフォローもしていきたい」と語った。

また市社会福祉協議会は近く、ボランティアセンターを立ち上げ、ボランティアの受け入れを始めるという。

佐野市内秋山川堤防決壊現場

掲載日：2019年10月17日、面名：各地、記事ID：KJ_I20191017_01018000100305003

(C)下野新聞社　無断複製転載禁止。

「お互いさま」が心強い

ボランティア 復旧向け活躍

派遣へ市センター開設

手助け、親子で参加も

佐野

【佐野】台風19号の被害を受け、市社会福祉協議会は16日までに市災害ボランティアセンターを開設し、高齢者世帯などを対象にボランティアの派遣を始めた。16日は県内外から145人のボランティアが集まり、被災した住居の片付けなどを行った。

日光市平ケ崎、自営業赤羽利博さん(48)は、次男の佐野日大高2年功隆さん(17)と参加し、田島町、看護師武井恵美さん(59)の自宅で片付け作業を行った。

武井さん宅は玄関まで浸水し、庭に大量の土砂が残ったほか、小屋内の農機具なども災害ごみとなった。利博さんや功隆さんらは、手やスコップなどで土砂をすくい上げるなどして、黙々と作業を進めた。

功隆さんは「普段立ち寄る飲食店なども被害を受けている。自分の力が手助けになれば」と話した。武井さんは「自分では丸1日かけても玄関周りの泥を取り除くだけで精いっぱいだった。ボランティアの方の存在は本当にありがたい」と感謝していた。（市川佳祐）

住宅に残された土砂やごみなどを片付けるボランティア

掲載日：2019年10月27日、面名：第1面、記事ID：KIJ20191027_01001000100105006

(C) 下野新聞社　無断複製転載禁止。

広がる災害ボランティア

開設10市町 延べ6833人

台風19号

直撃2週間、県まとめ

「支援まだ足りない」

台風19号で被災した県内10市町に開設された災害ボランティアセンターで活動したボランティアは13～25日の13日間で、延べ6833人（暫定値）に上ったことが26日までに、県のまとめで分かった。台風が本県を直撃してから26日で2週間。各地で支援の輪が広がりつつあるが、センターを運営する社会福祉協議会の担当者からは「住宅1軒での活動が1日で終わるわけではない。天候にも左右され、支援はまだまだ足りない」との声も漏れる。

（2、3、25面に関連記事）

県県民文化課によると、センターは被災自治体の社会福祉協議会が設置。被災者の要望を受けて、ボランティアの募集や派遣、情報提供などを行う。

台風19号の被害で、県内では13日以降、栃木や佐野、鹿沼市などで順次センターが開設され、最大10市町に広がった。現在は下野市、上三川、壬生町が閉所し、7市で活動している。

13～25日の13日間で活動人数が最も多かったのは佐野で2198人。栃木1866人、鹿沼1014人と続いた。佐野の活動人数について県は「秋山川堤防の決壊などが広く報道され、支援が広がったのではないか」とみる。

日別に見ると、日曜日で晴天に恵まれた20日が全体で2097人と最多だった。雨となった19、22、25日は多くのセンターがボランティアの安全確保のため、活動を休止した。

7市のうち、足利や栃木、佐野、鹿沼の4市は、ボランティアの必要度が3段階で最も高い「非常に多く必要」に当たる状況という。栃木市は被災者からの支援依頼に対し、作業完了は4分の1程度にとどまる。

活動人数が最多だった佐野市でも、24日までの被災者からの支援依頼346件のうち、作業が完了したのは124件。佐野市社会福祉協議会の担当者は「雨で活動が休止になるなど、被災者のニーズに対応できていない。引き続き多くの方に支援していただきたい」と訴えている。

（佐野恵）

※県県民文化課まとめ（暫定値）
下野、上三川、壬生は雨で閉所

宇都宮	409
足利	799
栃木	1,866
佐野	2,198
鹿沼	1,014
小山	141
都道府県山	247
下野	0
上三川	136
壬生	23
合計	6,833

（13～25日）

災害ボランティアセンターで受け付けて活動した人数

掲載日：2019年11月10日，面名：第1面，記事ID:KLJ20191110_010010010106100010　(C) 下野新聞社　無断複製転載禁止。

ボランティア 県まとめ

1万6000人 復旧後押し

関東・東北豪雨上回る

台風19号の被害を受け、県内10市町に開設された災害ボランティアセンターで活動したボランティアが、10月13日～11月7日の26日間で延べ1万6757人（暫定値）だったことが9日までに、県のまとめで分かった。活動件数は計2580件。2015年関東・東北豪雨災害時のボランティア活動人数、1万318人を既に大きく上回っており、県は活動の長期化も見込んでいる。（結倉雄大）　3、29面に関連記事

長期化、7市で活動続く

台風19号

センターは被災自治体の社会福祉協議会が設置する。県内では台風19号で被災した栃木市や佐野市など、最大10市町で設置された。7日現在は既に閉所した下野、上三川、壬生を除く7市で活動が続いている。

天候にも左右されるが、これまで平日はおおむね500人前後、休日は1千人以上が参加。市町別では佐野市で延べ5854人、栃木市で5407人、鹿沼市で2885人が作業した。

県によると、床上浸水した家屋の泥出しなど、緊急を要する作業は収束に向かいつつあるという。一方で秋山川堤防の決壊があった佐野市などは、今も多くのボランティアを求めている。

10月末時点で活動人数は1万893人、活動件数は1730件に上った。県県民文化課は「首都圏からのアクセスが良く、参加の呼び掛けもうまくいっているのではないか」と、多くのボランティアが集まった要因を分析する。

関東・東北豪雨の際は栃木、鹿沼、小山、日光の4市がセンターを開設し、計1368件の活動に当たった。中でも栃木市は、15年8月11日～12月14日の約3カ月間にわたり活動を続けた。県は今回の開設期間を当時と同等以上になると見込んでおり、活動支援の体制強化に努める考え。

台風19号などのボランティア数（全国社会福祉協議会暫定値）によると、ボランティア活動が3万2560人、11月5日の1万3755人の3万3560人、1万5405人だった。

県内災害ボランティアセンターの活動状況

	延べ人数※	延べ活動件数※
宇都宮	790	198
足利	1,454	317
栃木	5,407	851
佐野	5,854	733
鹿沼	2,885	378
小山	141	47
那須烏山	267	47
下野	0	0
上三川	136	8
壬生	23	1
合計	16,757	2,580

※県県民文化課まとめ（暫定値）。下野、上三川、壬生は既に閉所

掲載日：2020年01月11日，面名：第１面，記事ID：KI_20200111_010010001001150046

(C) 下野新聞社　無断複製転載禁止

ボランティア2万6000人に

本県直撃 あす3カ月

台風19号

昨年10月の台風19号を受け、県内10市町に開設された災害ボランティアセンターを通じて活動したボランティアは8日までに延べ2万6192人に上ったことが10日、県のまとめで分かった。台風が本県に直撃してから12日で3カ月。これまで7市町のセンターが閉所となった一方、宇都宮、栃木、佐野の3市のセンターは開設を続けている。被災者の支援依頼は収束しつつあるが、住宅内外の片付け、清掃など被災者とボランティアのつなぎ役を果たしている。

（手塚耕一郎）

佐野、栃木、宇都宮で継続

県まとめ 7市町のセンター閉所

災害ボランティアセンターは、10市町の社会福祉協議会が昨年10月13～16日の間に順次開設した。被災者からの支援依頼に基づいてボランティアを募集、派遣している。

県によると、今月8日までの活動件数は10市町で計4038件。活動人数は佐野市1万1791人、栃木市6972人、鹿沼市3973人の順に多い。

住宅の浸水被害が比較的少なかった下野、上三川、壬生の3市町のセンターは昨年10月中に閉所。足利、鹿沼、小山、那須烏山の4市のセンターも依頼が落ち着いたとして年末までに閉所となった。ただ、いずれも地元のボランティア団体と連携するなどして、閉所後も新たな依頼に備えている。

閉設中の3市のセンターでも被災者からの支援依頼は減っているが、佐野市のセンターは未対応の依頼が約40件あり、10日も数件の依頼があったという。同市社協の担当者は「清掃などのニーズがある。推移をみながら、今のところ3月末までは開設予定」と話す。

宇都宮市のセンターは10日、不用品の搬出依頼に同市社協職員と地元の支援団体が対応。栃木市のセンターには年明け以降、数件の依頼が入ったという。

2015年9月の関東・東北豪雨時、県内では栃木、鹿沼、小山、日光の4市でセンターが開設され、延べ1万318人のボランティアが1368件の活動に当たった。今回は人数がその2・5倍、件数は3倍に達し、県は「被災規模」るとはいえ、この数も国内各地で災害が続き、ボランティア意識まりを感じる」と上

災害ボランティアセンターの活動状況

	活動人数	活動件数	閉所日
宇都宮	1,122	259	開設中
足利	1,812	396	12月27日
栃木	6,972	1,373	開設中
佐野	11,791	1,406	開設中
鹿沼	3,973	493	12月15日
小山	139	52	12月27日
那須烏山	281	50	11月29日
下野	10	0	10月19日
上三川	69	8	10月21日
壬生	23	1	10月21日
計	26,192	4,038	

※県県民文化課まとめ。活動人数、件数は8日現在。活動人数は受付人数か登録人数を指す。閉所は全て2019年

３　マスコミ取材記録（順不同）

多くのマスコミ関係の皆様に度重なる取材をいただき、広く情報を発信していただきました。特に発災から初動時にかけて大きく取り上げていただき、全国からボランティアの皆様にご参加をいただきながらボランティアセンターを運営することができました。

「テレビ」
・ＮＨＫ　・日本テレビ　・テレビ朝日　・ＴＢＳ　・フジテレビ
・とちぎテレビ　・佐野ケーブルテレビ　など

「新聞」
・読売新聞　・朝日新聞　・毎日新聞
・下野新聞　など

4　様式集　（当時使用のもの）

「全ての班」（ミーティング記録表）

①【全係】

佐野市災害ボランティアセンタースタッフミーティング記録表

日　時	令和　　年　　月　　日（　） ～	記録者	
場　所			
係　名	□総務広報班　□ニーズ班　□受付班　□マッチング班　□送り出し班		
ミーティング参加者			

本日の課題・反省点など	今後の方向性（案）

「総務広報班」

10/16（水）
より
支援開始

ボランティア募集

１０月１２日に発生した台風１９号の被害に伴い、ご自身で片付けが難しい方やお困りごとを抱えている方を支援するために、佐野市総合福祉センター内に「佐野市災害ボランティアセンター」を設置いたしました。皆様のご協力をお願いします。

○**設置主体**　佐野市社会福祉協議会

○**募集対象**　①栃木県内、県外は問いません。
②１５歳以上であること。
（※ただし、高校生が活動する場合は、成人の方がボランティアリーダーとして引率をお願いいたします。
中学生の場合は、保護者の同伴及び同一場所での作業となります。）
③ボランティア保険に加入している方。
※全国社会福祉協議会専用サイト
(https://www.saigaivc.com/insurance/)で詳細確認や加入手続きもできます。(保険料はクレジット決済での払い込み)
また、お住まいの社会福祉協議会でも加入することが出来ます。）
④体調管理を自己責任で行える方。

○**活動内容**　被害に遭った方が居住している家屋内外の片づけなど
※ケガの危険性のある活動は行いません。

○**開設日**　令和元年１０月１６日（水）から
※天候等により、ボランティア活動を休止する場合がありますので、必ず本会ホームページで状況を確認してくださるようお願いします。

○**受付時間**　午前８時４５分～正午（以降は受け付けできませんのでご了承ください）

○**活動時間**　午前１０時～午後３時

○**服　装**　動きやすく、汚れても差し支えのない服装（長袖・長ズボンでお願いします。）

○**持ち物**　厚手のゴム手袋（軍手でも可）、長靴、室内履き（屋内作業用）、マスク、タオル、昼食、飲み物（多めに）

■**その他**　○個人に関するもの（食料や宿泊場所の確保等）は、各自でお願いします。
○駐車場あり
○団体（１０名以上）での活動を希望される方は事前にご連絡ください。

お問合せ

佐野市災害ボランティアセンター（総合福祉センター内）
〒327-0003　佐野市大橋町 3212-27
電話：070-4475-6828（ボランティア活動希望者用）
FAX：0283-22-8199

⑦【総務広報係】

佐野市災害ボランティアセンター開設のお知らせ

屋内外の片づけなど
ボランティアがお手伝いします

台風１９号により被害を受けられた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。
佐野市社会福祉協議会では災害ボランティアセンターを開設し、被害に遭われた方の支援を行うためボランティアの活動を行います。

■運営主体　　佐野市社会福祉協議会

■対 象 者　　台風１９号により被災された方
※「ひとり暮らし高齢者世帯」「高齢者夫婦のみの世帯」など、自力で復興活動が困難と思われる世帯の方を優先とさせていただくことがあります。

■活動内容　　・居住している家屋内外の片付け（屋内作業を優先させていただきます）
・ボランティアの安全が確保できる軽作業
・特殊な技術を伴わない軽作業　　など
・ボランティアの怪我の可能性がある危険な活動は、ご要望にお応えできません。
・状況によって、すぐにご要望にお応えできない場合があります。

■料　　金　　無料（ボランティア活動ですので、謝礼等は必要ありません。）
食事等も不要ですが、休憩する場所とトイレをお借りします。

■受付期間　　令和　元年１０月１５日（火）から
午前８時４５分～午後５時（ボランティアの活動時間：午前１０時～午後３時）

■依頼方法　　お電話が直接お越しの上、お申し込みください。
【ボランティア依頼受付専用電話】
※聴覚に障がいのある方は、FAX で「お名前」「住所」「FAX 番号」「依頼したい内容」をお送りください。後程ご連絡します。

■その他　　**佐野市災害ボランティアセンターのボランティアは代表者が、ビブス（「佐野市社会福祉協議会」と書かれたもの）を着用しています。**

■お問合わせ

佐野市災害ボランティアセンター（総合福祉センター）
（運営：佐野市社会福祉協議会）
〒327-0003　佐野市大橋町３２１２－２７
電話：０８０－８８７０－０８６７　（ボランティア依頼用）
０２８３－２２－８１３６　（総務福祉課 地域福祉推進係兼用）
FAX：０２８３－２２－８１９９　（佐野市社会福祉協議会兼用）

「ニーズ班」「受付班」「マッチング班」「送り出し班」（ニーズ受付様式　表）

⑧【ニーズ係】【受付係】【マッチング係】【送り出し係】

ボランティア調整シート

活動依頼書　/　活動指示書

受付No		受付日	受付担当
	□新規依頼 □再依頼 □継続依頼	令和　年 月　日（　）	

フリガナ 依頼者氏名	男・女 様	年齢	依頼の方法 □来所　□電話　□FAX　□メール　□ローテー
活動場所	※アパート等の場合は号室まで記入 佐野市 自宅電話：　　携帯電話：		
家族構成	□一人暮らし高齢者　□高齢者のみの世帯　□その他（　　）		
家屋診断結果 ※地震の場合	緑・黄・赤・不明	家屋聞取り	
依頼内容	（1）区分 □片づけ（屋内・屋外）　□泥だし（屋内・屋外） □避難所のお手伝い　□物資の運搬、仕分け □移送、付き添い等　□話し相手・遊び相手 □その他（　　） （2）具体的な活動内容 （3）その他 希望の人数　⇒　男性　名、女性　名（合計　名） 期日・曜日の指定　□無　□有　→　月　日（　）午前・午後　時頃 曜日　午前・午後　時頃	N 4 見取図	
備用確認	□水道　□トイレ	駐車スペース	□有（　台）場所：（　）□無
活動に必要な資機材 （　）内数量	□土嚢袋（　）□スコップ（　）□デッキブラシ（　）□水切りワイパー（　）□ほうき（　） □一輪車（　）□バケツ（　）□土のうかご（　） □その他（　）		
特記事項	気づいたことは些細なことでも記入		□気になることがある

※以下、活動場所を現地確認する際に記入

現地確認日	令和　年　月　日（　）　担当者：		
活動場所の様子	依頼活動の際の安全性や注意点、依頼者への配慮の必要性、活動場所の様子などを記入		
家屋診断結果 ※地震の場合	□申告の通り □申告内容と異なる（緑・黄・赤・不明）	依頼の受諾	□可　□不可

派遣日時	月　日（　）AM・PM　：	連絡者	

（ニーズ受付様式　裏）

ボランティア活動者

No	氏　名	携帯電話	No	氏　名	携帯電話
1			6		
2			7		
3			8		
4			9		
5			10		

※グループリーダーは「番号に○印」

活動報告書　　実施日：　　月　　日

※グループリーダーが記入してください。一緒に活動したボランティアの意見等も踏まえてください。
※運営スタッフに口頭でもお聞かせください。

記入者（リーダー）	

活動内容	□指示通りだった　⇒　残った作業（　　） □指示以外の活動があった □全く違った □なかった ⇒（　　）
怪我人など	□なし　　□あり（怪我人等の氏名：　　）
活動中の依頼者の様子、気付いたこと、困ったこと、問題点や意見などがあれば、自由にご記入ください。	

※スタッフ記入欄

記入者（スタッフ）	

活動結果	□完了　→　依頼者による完了の確認　□確認済み　□未確認 □継続　⇒　依頼者に対するボラ派遣希望の確認　□確認済み →　（ボラ派遣を継続希望の場合、依頼者への電話　□電話済み）

「受付班」

⑨【受付係】

佐野市災害ボランティアセンターボランティア受付簿

ボランティア活動保険（天災付きプラン）に未加入の場合は、全国社会福祉協議会を契約者とするボランティア活動保険（天災A・Bプラン）に加入をお願いします。

取得した個人情報について、法令に定める場合又は本人の同意を得た場合を除き、行政が取り組むことの出来ない部分の復旧・復興支援および地域住民の自立支援という利用目的の達成に必要な範囲を超えて利用することはありません。

【令和　　年　　月　　日（　　）受付】　No.

No.	氏　名	性別	血液型	生年月日	住　所	携帯電話	このセンターでの活動	ボランティア活動保険	緊急連絡先 電話番号 氏　名	団体名・資格等
例	しゃきょう　たろう 社協　太郎	男 女	A	S・H 8年 9月 10日	佐野市大橋町 3212-27	090-1234-1234	初めて 2回目以上	加入済 未加入	090-4321-4321 社協　正夫	ボランティアサークルあさひ 普通自動車免許 大学3年生
1		男 女		S・H 年　月　日			初めて 2回目以上	加入済 未加入		
2		男 女		S・H 年　月　日			初めて 2回目以上	加入済 未加入		
3		男 女		S・H 年　月　日			初めて 2回目以上	加入済 未加入		
4		男 女		S・H 年　月　日			初めて 2回目以上	加入済 未加入		
5		男 女		S・H 年　月　日			初めて 2回目以上	加入済 未加入		
6		男 女		S・H 年　月　日			初めて 2回目以上	加入済 未加入		
7		男 女		S・H 年　月　日			初めて 2回目以上	加入済 未加入		
8		男 女		S・H 年　月　日			初めて 2回目以上	加入済 未加入		
9		男 女		S・H 年　月　日			初めて 2回目以上	加入済 未加入		
10		男 女		S・H 年　月　日			初めて 2回目以上	加入済 未加入		

「マッチング班」

ボランティアの皆さんへ

～本日はありがとうございます　活動前に必ず読んでください～

活動の心がまえ

（1）依頼者（被災者）の気持ちを考えて活動しましょう

・復旧復興の主役は被災された住民（依頼者）であり、ボランティアはそのサポート役です。
・被災された住宅の撮影（写真・ビデオ類）は禁止です。ボランティアによる集合写真（記念写真）の撮影もお断りしています。

（2）災害ボランティア活動にあたって

・センターやグループリーダーの指示に従いましょう。リーダーは、活動に際しての情報はグループメンバー全員に必ず伝えましょう。
・個人の思い込みや経験・判断を押し付けることは避けましょう。単独や勝手な行動は厳禁です。
・依頼者のプライバシーや個人情報の取り扱いに注意してください。
・「自分のことは自分で（自己完結）」が基本です。食事や宿泊場所の手配、持ち物の管理などは、個人で行ってください。
・被害に遭った地域には、独自の歴史や地域のルールがありますので尊重しましょう。
・活動は一人ではなく、みんなで行うものです。お互いに声をかけあい、コミュニケーションを図りながら活動してください。

（3）健康管理に注意しましょう。

・５０分に１回１０分程度（夏季は３０～４０分に１回１０分程度）、必ず休憩しましょう。休憩時間以外でも、個人の体力に合わせて休憩しましょう。（リーダーに声をかけてください。）
・水分や塩分は十分に補給しましょう。トイレを心配して補給しない方も稀にいますが、しっかり補給してください。
・活動中は気持ちが高ぶってしまいがちです。熱い気持ちをクールダウンして、安全第一で活動しましょう。
・活動中に余震を感じた場合は、活動を中断し、ご自身の安全を確保してください。

（4）ほう・れん・そう（報告・連絡・相談）を忘れずに

・トラブルが発生したときや分からないことは、スタッフやグループ内で「報告・連絡・相談」を基本にしましょう。

<例えば>
⇒怪我をしてしまった・・・
⇒疲れてしまった・・・（休むことも大切です。）
⇒家財道具などを壊してしまった・・・
⇒予定外の活動を依頼された・・・
⇒謝礼の申し出があった・・・（金品等はお断りしてください。）
⇒活動に対する苦情があった・・・
⇒判断に迷ってしまった・・・

佐野市災害ボランティアセンター
〒327-0003　佐野市大橋町 3212-27
Tel：0283-22-8136／FAX：0283-22-8199

「マッチングの流れ」スタッフ説明文書

マッチング班　流れ

１２月１日改訂版

訪問先へ事前連絡
様子を見ながら依頼者宅に電話し、本日訪問は可か、トイレや水、駐車場の場所、台数確認をする。危険な作業はできないと説明。

ファイルを準備
・地図や配布物をできるだけ事前に準備しておく。(直前がスムーズになるため)
・訪問先に連絡済で、すぐに行けることを示す目印として、クリアファイルの外側にカラーファイル（赤色）をかける。
・カラーファイルの案件から活動紹介、説明をする。

ボラに説明
・挨拶（お待たせしました）
・活動を説明する。人数、条件を伝える。車か徒歩か。
※車の人には胸に乗員数記入の養生テープが貼り付けてある
◎軽トラックお持ちの方をHPで募集
※待合席に「軽トラの方」の看板列を設定。一輪車あり案件は、軽トラの方に積載願う。
◎床板はがし、床下潜り経験者をHPで募集
※床下潜り経験者は待合席に看板付けた列を設定。
・席が前の人から選ぶ
・チーム確定
・ロビーへ移動

オリエンテーション
・感謝の言葉
・付箋をはる（氏名の）
・「ボランティアの皆さんへ」（受付時配布）を読んでいてもらう
・この間コピーを取りに行く
① 調整シート（表）と班員名簿の付箋（裏）の両面
【班長用１+送り出し用１（+一輪車手配用)】
※貼った付箋はセロテープで補強（外れるため）
② 地図【運転手数分（+一輪車手配用)】
③ 配布物【被災宅渡す用、感染症対策】+場所によって駐車券

◯内容説明

・活動上ポイント

マスク着用、チームで動く、現地へ車か、徒歩か、バスか、
水道、トイレのあるなし

※地図を見ながらルート、トイレ、コンビニ等確認

・家財道具や泥は道路に出せるが、邪魔にならない範囲で。

（市で後日収集）

・ボランティア、できる内容の確認（危険な活動は断る）

※専門的な作業（がれき運搬、床下消毒はしない）

◯リーダー、サブリーダー選出）

※災害ボラ経験や土地勘などを参考に立候補

・リーダーに書類を１式渡す（調整シート写、付箋の面写、地図写）

・リーダーにお願いすること

「ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱを依頼された皆さんへ」を被災宅に渡すよう指示。

・送り出し班テントで、調整シート（裏の名簿付）を渡すよう指示。

※さらに一輪車を別途手配の場合、配達車用に調整シート+地図を提出するよう指示。

・ビブスを渡す（1 班 1 枚、リーダーが着用）

〇車は乗り合わせ（4 人につき 1 台）

・ボラ保険は車の事故に対応していない部分あり。任意保険加入の車で願う。

※養生テープが胸に貼ってある方が車提供候補者。

◯活動は**午後３時で**終了（途中でも）戻ってくる。

・戻ったら資材返却をし、終了の受付をする。

・報告欄に活動の様子や本人の様子などを記入し、報告願う（気づき大切）

※作業が終了しない場合、今後継続できるか、いつ来るかはわからない。

〇体調を崩していないか確認（熱はないか、持病などはないか等）

〇被災者宛への「応援メッセージ付グッズ」を訪問先に１つ持参願う。

◯その他、活動先で迷ったらボラセン携帯に連絡をすること。

送り出す

・トイレ済ませ、屋外の資材引き渡し所へ送り出す。

後処理

・派遣後に、カラーファイルを外し、シート原本の**派遣日付欄を記入し、**
送った案件が新規か継続かを記入し、処理済トレイへ。

※応援メッセージグッズを渡した案件のファイルは緑シールを貼る
（重複配布を防ぐため）

・処理済トレイにたまったシート原本は順次受付班に渡す。

「送り出し班」

⑭【送り出し係】

佐野市災害ボランティアセンター備品受付票

備品番号＿＿＿＿＿＿

氏　　名 または 団 体 名	※団体の場合　担当者名（　　）
住　　所	
連 絡 先	電話　（　　）　　FAX　（　　） 携帯　（　　） メール等

物資・物品名（個数）	提供・購入先

分類コード…　1．飲料水・ジュース類　2．食料品　3．日用品　4．医薬品
5．毛布・布団　6．タオル類　7．衣料品　8．オムツ・生理用品
9．学用品　10．福祉機器　11．その他

（備考欄）

受 付 日 時	月　日　午前・午後　時　分　受付者＿＿＿＿＿＿

（活動後の資機材返却場所説明図）
・混雑を避けるため物品返却場所を３か所に分散した。

令和元年東日本台風
佐野市災害ボランティアセンター活動報告書

発　行　令和３年６月
発行者　社会福祉法人　佐野市社会福祉協議会
　　総務福祉課　地域福祉推進係
　　〒327-0003　栃木県佐野市大橋町３２１２－２７
　　佐野市総合福祉センター内
　　ＴＥＬ　０２８３－２２－８１００(代表)
　　ＦＡＸ　０２８３－２２－８１９９
　　ＵＲＬ　https://www.sanoshakyo.or.jp

本書は赤い羽根共同募金の配分金により作成しています。